

金貳千圓

内

大正八年度支出額

金貳千圓

橋梁新架費

金參萬貳千五百圓

大正九年度支出額

内

金參萬貳千五百圓

橋梁新架費

金五萬貳千貳百六拾六圓

大正十年度支出額

内

金五萬貳千貳百六拾六圓

橋梁新架費

金四萬八千五百七拾七圓

大正十一年度支出額

内

金四萬八千五百七拾七圓

橋梁新架費

五日市道筋草花村福生村間ハ交通頻繁ヲ極ムルニ不拘從來渡船ニ依リ其ノ連絡ヲ保チ來リタルモノニシテ交通上不便不尠ニ依リ橋梁ノ新架ヲ要スル處經費ノ都合ニ因リ繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セントス

第九號議案部 自大正七年度 東京府郡部土木費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金貳拾五萬貳千八百九拾六圓

一金貳拾六萬參千五百貳拾四圓

内 譯

道路橋梁費

既定額金貳萬參千參百五拾五圓

金貳萬七千四百拾壹圓

内

大正七年度支出額

既定額金貳萬參千參百五拾五圓

金貳萬七千四百拾壹圓

道路改修費

既定額金八萬參千四百七拾五圓

金九萬四拾七圓

内

大正八年度支出額

既定額金八萬參千四百七拾五圓

金九萬四拾七圓

道路改修費

南葛飾郡天神橋道竝北多摩郡村山道改修工事費ハ物價騰貴ノ爲豫算不足ヲ告ク
ルニ依リ年度割ヲ更正スルモノトス

郡部
第十號議案

自大正六年度
至大正八年度
東京府郡部土木費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金貳萬七千四百八拾壹圓

一金參萬九千四百貳圓

道路橋梁費

内譯

既定額金六千五百五拾圓

金壹萬四百拾四圓

大正七年度支出額

内

既定額金六千五百五拾圓

金壹萬四百拾四圓

道路改修費

既定額金壹萬九千四百參拾壹圓

金貳萬七千四百八拾八圓

大正八年度支出額

内

既定額金壹萬九千四百參拾壹圓

金貳萬七千四百八拾八圓

道路改修費

荏原郡厚木街道改修工事費ハ物價騰貴ノ爲豫算不足ヲ告クルニ依リ年度割ヲ更
正スルモノトス

郡部
第十一號議案

自明治四十年
至大正八年度
東京府郡部土木費繼續年期及支

出方法更正ノ件……………可決

既定自明治四十年
至大正八年度
東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

更正自明治四十年
至大正九年度
東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

既定額金六萬參千參百圓

一金六萬參千參百圓

道路橋梁費

内譯

既定額金貳萬四千百拾五圓
金五百圓

道路改修費

内

既定額金貳萬四千百拾五圓

金五百圓

大正八年度支出額

既定額金〇

金貳萬參千六百拾五圓

道路改修費

内

既定額金〇

金貳萬參千六百拾五圓

大正九年度支出額

圖師道ノ改修ハ南多摩郡日野町地内豊田停車場ヨリ忠生村地内大山往還ニ連絡スヘキ道路開鑿ノ計畫ニシテ該工事未施行部分ノ内七生村平山地内補助道高幡道ニ接續セル地點ヨリ由木村地内府中相原道ニ接續スヘキ地點ニ至ル區間ノ工事ハ大正七年度ニ於テ施行ノ計畫ニ屬シ目下其ノ工事中ナルモ爾餘ノ區間ニハ在來道路アル等其ノ改修ニ付テハ尙本調査ヲ要スルモノアルヲ以テ大正九年度迄其ノ施行ヲ繰延フルコトトシ年度割ヲ更正スルモノトス

郡第十二號議案部

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………修正

第一條

陸羽街道仲仙道千葉街道改修費負擔並五日市道架橋費ニ充ツル爲銀行

其ノ他ヨリ「金參拾五萬七千四百圓」「金參拾五萬千四百圓」ト修正ヲ須要ニ應シ左記ノ通借入ルルモノトス

大正八年度 「金五萬七千百圓」(「金五萬千百圓」ト修正)

大正九年度 金九萬九千百圓

大正十年度 金拾五萬八千四百圓

大正十一年度 〇

大正十二年度 金四萬貳千八百圓

第二條 借入金ノ利子ハ一箇年百分ノ六以内トシ毎年九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但シ借入又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ日割ヲ以テ計算ス

第三條 借入金ハ借入ノ時ヨリ大正十年度迄据置キ大正十一年度ヨリ大正十四

年度ニ至ル四箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但シ經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正十一年度 金壹萬九千貳百圓

大正十二年度 ○

大正十三年度 金拾萬參千五百圓

大正十四年度 「金貳拾參萬四千七百圓」(「金貳拾貳萬八千七百圓」ト修正)

第四條 前條ノ償還ハ一般財源ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

郡部
第十三號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中改正ノ件……………可決

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法(大正六年議決 郡部第十四號)中左ノ通改ムルモノトス

第三條 借入金ハ大正九年度ヨリ六箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但シ經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲スコトアルヘシ

大正九年度 金參萬圓

大正十年度 金參萬圓

大正十一年度 金參萬圓

大正十二年度 金參萬圓

大正十三年度 金六萬圓

大正十四年度 金七萬圓

郡部
第十四號議案

特別經濟運用ニ關スル方法中改正ノ件……………可決

特別經濟運用方法(大正六年議決 郡部第十三號)中左ノ通改ムルモノトス

第三項中「大正八年度」ヲ「大正十三年度」ニ「大正九年度」ヲ「大正十四年度」ニ改ム

郡部
第十五號議案

大正七年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第一款 地租 割 金六萬七千百五圓

第一項 地租 割 金六萬七千百五圓

第四款 營業稅附加稅 金壹萬貳千四百拾壹圓
(宅地租壹圓ニ付四錢其ノ他ノ土地地租壹圓ニ付九錢八厘)

第五章 府會の行動 大正七年の府會

第一項 營業稅附加稅	金壹萬貳千四百拾壹圓 <small>(本稅壹圓二付壹錢八厘)</small>
第六款 所得稅附加稅	金五萬五千九百九拾貳圓
第一項 所得稅附加稅	金五萬五千九百九拾貳圓 <small>(本稅壹圓二付四錢)</small>
第十款 國庫下渡金	金貳萬貳千貳百參拾九圓八拾七錢
第一項 警察費下渡金	金貳萬貳千貳百參拾九圓八拾七錢
第二款 雜收	金六萬四千七百七拾貳圓九拾五錢
第三款 市郡連帶郡部收入額	金七千五百五拾貳圓八拾七錢
第一項 市郡連帶郡部收入額	金七千五百五拾貳圓八拾七錢
經常部合計金貳拾貳萬九千四百七拾參圓六拾九錢	
臨時部	
第一款 繰越金	金七萬八百四拾壹圓六錢
第一項 前年度繰越金	金七萬八百四拾壹圓六錢
第五款 運用金	金七千八百圓
第一項 運用金	金七千八百圓
臨時部合計金七萬八千六百四拾壹圓六錢	

歲入總計金參拾萬八千百拾四圓七拾五錢

歲出

經常部

第一款 警察費	金參萬七千六拾六圓四拾五錢
第一項 俸給及諸給	金參萬七千六拾六圓四拾五錢
警察書記其ノ他特別手當增加支給	
第三款 土木費	金參千參百八拾四圓拾貳錢
第一項 道路橋梁費	金參千參百八拾四圓拾貳錢
諸傭人特別手當增加支給	
第四款 郡役所費	金貳千九百六拾五圓四錢
第一項 俸給及諸給	金貳千九百六拾五圓四錢
郡書記其ノ他特別手當增加支給	
第五款 郡廳舍修繕費	金四千九百八拾圓
第一項 修繕費	金四千九百八拾圓
第八款 勸業費	金千百六拾九圓九拾壹錢

第一項 農事試驗場費 金七百貳圓八拾六錢

職員其ノ他增加手當支給

第二項 勸業諸費 金百壹圓六拾錢

同上

第三項 耕地改良費 金貳百九拾四圓六拾五錢

同上

第四項 公有林野造林獎勵費 金七拾圓八拾錢

同上

第九款 府費取扱費 金八千圓

第一項 徵收費 金八千圓

第三款 市郡分賦郡部負擔額 金拾貳萬參千九百九拾七圓參拾壹錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金拾貳萬參千九百九拾七圓參拾壹錢

經常部合計金拾八萬千五百六拾貳圓八拾參錢

臨時部

第二款 土木費 金拾壹萬八千四百貳拾六圓四拾九錢

第一項 道路橋梁費 金七萬參百七拾六圓貳拾七錢

水害復舊工事費

第二項 治水堤防費 金四萬八千五拾圓貳拾貳錢

第三款 郡市町村土木補助費 金貳百五圓四拾六錢

第一項 道路橋梁費補助 金貳百五圓四拾六錢

第九款 土木費本年度支出額 金七千九百貳拾圓

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金七千九百貳拾圓

郡部第九號及第十號議案ノ年度割額

臨時部合計金拾貳萬六千五百五拾壹圓九拾五錢

歲出總計金參拾萬八千百拾四圓七拾八錢

郡部第十六號議案 府稅賦課ニ關スル件……………可決

大正七年度郡部追加府稅地租割宅地租壹圓ニ付四錢其ノ他ノ營業稅附加稅 營業稅壹圓ニ付壹錢八厘所得稅附加稅所得稅壹圓ニ付四錢ノ賦課ニ付テハ左記ノ方法ニ依ルモノトス
一 地租割ハ大正八年二月一日現在ノ地租額ニ依リ地租ヲ納ムル者ニ賦課ス

一營業稅附加稅並所得稅附加稅ハ大正七年十二月三十一日ノ現在ニ依リ營業稅又ハ所得稅ヲ納ムル者ニ賦課ス但シ同日以後ニ於テ新ニ納稅義務ノ發生シタル者ハ其ノ日ノ現在ニ依ル

一前各項ノ外東京府郡部府稅賦課規則ヲ準用ス

(原案説明) 地租割營業稅附加稅及所得稅附加稅ノ追加賦課ヲ爲スカ爲之ニ關シ規定ヲ設クルノ必要アルニ由ル

郡部 第十七號議案

特別經濟運用ニ關スル件……………可決

大正七年度郡部負擔歲出ノ追加ニ充ツル爲東京府郡部積立金ヨリ金七千八百圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟ヘ運用スルモノトス

一大正七年度内須要ニ應シ運用スルモノトス

一運用金ニハ利子ヲ附セス

一運用金ハ大正八年度ハ之ヲ据置キ大正九年度ニ於テ全額ヲ戻入スルモノトス

郡部 第十八號議案

積立金積立停止ニ關スル件……………可決

大正六年度普通經濟決算剩餘金ノ内金貳千圓ハ本年度ニ於テ郡部積立金ヘ編入

シ之ヲ積立ツヘキ筈ナルモ右ハ經濟ノ都合ニ依リ之ヲ停止スルモノトス

郡部 第十九號議案

大正七年度東京府郡部積立金歲入歲出追加更正豫算書……………可決

大正六年度東京府郡部歲入歲出決算書……………承認

府費支辨高田道改修路線ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 大正七年度郡部歲出豫算書臨時部第二款土木費中北豐島郡下練馬村高田道改修工事(工費金六千貳拾八圓七拾貳錢)豫定路線は正久保橋西詰より島野辰藏宅東脇に至る直線を最も適當と認むるから、この路線を採用せられたいと知事に意見書を提出するので、建議案は多數を以て可決した(議員花井源兵衛外三名發議)。

荒川及利根川改良工事ニ關シ參事會ヘ委任ノ決議案……………可決

一 荒川及利根川ノ改良工事ニ關聯シ府歲入出豫算ノ追加又ハ更正ニ伴ヒ歲入出豫算ノ追加又ハ更正若ハ之カ爲起債ヲ要スル場合ハ之カ議決ヲ郡部參事會ニ委任スルモノトス(議員森田節外二名發議)

府會議員協議會

一大正七年十二月三日、府會議員協議會を開き、平和記念博覽會開催に關する委員九名を設置することを決議し、次の通選定した。而して府會、市部會、郡部會の各議長は當然委員に加はることゝなつた。

- | | | | |
|------|-------------|------|-------------|
| 委員長 | 酒井 泰 | 副委員長 | 村 上 熊 八 |
| 副委員長 | 村 林 彦 之 | 主査 | 木 内 傳 之 助 |
| 主査 | 岡 田 榮 一 | | 高 橋 甚 右 衛 門 |
| | 萩 原 利 右 衛 門 | | 矢 野 鉦 吉 |
| | 村 山 賢 作 | | 井 田 忠 信 |
| | 淺 賀 長 兵 衛 | | 紅 林 七 五 郎 |

一大正七年十二月二十七日、府會議員協議會を開き、各種常置委員改選の件を協議し、次の通選定した。但し教育費建議實行委員は改選せず、其の儘任務を繼續することゝなつた。

○警務常置委員

- | | |
|---------|-------|
| 福 島 元 節 | 渡 部 朔 |
|---------|-------|

- | | |
|-------------|-----------|
| 五 木 田 治 郎 吉 | 片 山 久 藏 |
| 龜 山 五 郎 | 平 塚 玄 洞 有 |
| 木 内 傳 之 助 | 委員長 |
| 田 中 武 助 | 大 井 宗 兵 衛 |
| 吉 田 勘 右 衛 門 | 鈴 木 宗 兵 衛 |
| 大 木 金 兵 衛 | 岡 田 榮 一 |
| 理事 | 平 林 定 兵 衛 |
| 井 田 忠 信 | 鶴 岡 英 文 |
| 木 村 信 三 | |

○土木常置委員

- | | |
|-------------|-----------|
| 本 宮 辰 次 郎 | 丸 山 名 政 |
| 大 塚 榮 吉 | 矢 野 鉦 吉 |
| 萩 原 利 右 衛 門 | 紅 林 七 五 郎 |
| 委員長 | 淺 賀 長 兵 衛 |
| 花 井 源 兵 衛 | |
| 村 林 彦 之 | |

○衛生常置委員

- | | |
|-----------|-----------|
| 石 垣 甲 子 造 | 野 村 鑒 太 郎 |
| 久 保 三 友 郎 | 松 内 良 治 郎 |
| 横 山 喜 三 郎 | 委員長 |
| | 村 田 權 次 郎 |

木下勝太郎
花井源兵衛

豊田周作

○教育常置委員

委員長 松村清吾

牧野賤男

徳岡梅吉

田中友右衛門

吉田勘右衛門

横山喜三郎

朝倉虎治郎

森田節

木下勝太郎

○勸業常置委員

田中信次郎

高橋甚右衛門

村山賢一作

三田慶太郎

岡田榮一

村田權次郎

委員長 瀨沼伊兵衛

吉田利兵衛

中村半左衛門

○税制常置委員

大木金兵衛

豊田周作

市倉兼吉

杉山金次郎

大伊藤仁三郎

委員長 秋虎太郎

村山賢作

石垣甲子造

○師範學校費國庫支辨ニ關スル委員

委員長 酒井泰

村上熊八

大竹仁三郎

星野佐昭

木内傳之助

市倉兼吉

田中武助

森田節

朝倉虎治郎

第二十二節 大正八年の府會

府會議員協議會

大正八年四月二十六日府會議員協議會を開き、酒井府會議長を座長として、次の事項を協議決定した。この會議には東京府理事官羽田格三郎同安井英二が説明の爲め列席した。
一大正八年度分ニ於テ府費支辨ノ吏員職員教員警察官及傭人等ニ對シ國費ノ例ニ準シテ特別手當約二割ヲ増加支給スルモノトシ此ノ費用約八、九拾萬圓ノ追加豫算ヲ承認ス但、

正式ノ手續トシテハ府參事會ニ提案其ノ議決ヲ經ルコト

(註) 安井理事官は本件ノ歳入は國庫補助金ノ外府税としては國稅附加税に依る見込なること、其の附加税は本税の百分の八十迄賦課し得る旨其の筋から通達があつたと説明した。

酒井座長は靖國神社鎮座五十年記念祭に付、清酒一樽を府會議員一同より奉納せること及皇太子殿下御成年式の當日即ち來る五月七日府廳内に於て祝賀式を舉行する豫定である旨を報告した。

第一臨時府會

本會は、故井上知事の府葬執行に關する追加豫算案等を議定する爲め招集せられたもので、大正八年六月十三日午後二時十分に開會し、即日議事が終了して、午後三時十七分閉會した。

開會の當初、知事代理岩田内務部長が、次の開會の辭を述べた。

「本日臨時緊急府會ヲ召集イタシマシタ。ソレハ非公式デアリマスガ、過日來府會方面ヨリ御要求ガアリマシテ、府葬ヲ執行スルノ費用ヲ提出スベキ御要求ニ依リマシテ、本日府會ヲ開キマシタ次第デアリマス。去ル六月十二日日本府知事井上友一閣下ノ薨去セラレマシタコトハ、誠ニ御同様ニ哀惜ニ堪ヘナイ次第デアリマス。故知事ガ國家ニ對シ、殊ニ我東京府ニ對シマシテ、産業教育交通其他社會政策等各般ノ施設ニ涉リマシタ所ノ偉大ナル功績ハ、此所ニ申述ル必要モナイト思フノデアリマス。我府ニ取リマシテハ實ニ多大ナル損失デアリマシテ、此點ハ先日モ申シマシタ通り、誠ニ痛惜ニ堪ヘナイ次第デアリマス。之ニ對シマシテ、府葬ヲ以テ府知事ノ葬式ヲ執行スルト云フコトノ特例ヲ此ノ度開クコトニナリ

マシタコトハ、實ニ我自治體ノ一大進歩ト見ルベキコトデアラウト考ヘマス。國葬アリ、市町村葬アリト雖モ未ダ曾テ府葬ナルモノハ無カツタノデアリマス。然ルニ此ノ度我東京府ガ先立テ自治體ノ爲ニ盡シタル管理者ニ對シテ、感謝ノ意ヲ表スル意味ヲ以テ、此ノ府葬ヲ行フト云フコトハ、必ズヤコノ自治ニ對シマシテ、殊ニ地方ノ自治トイフコトニ對シマシテ、常ニ滿腔ノ志ヲ注ガレテ居ラレマシタ府知事ニ對シマシテ、コノ府葬ヲ行フトイフコトハ、府知事トシテ必ズ九泉ノ下ニ於テ満足シテ居ラルルコトト存ズル次第デアリマス。一言提出ノ理由ヲ申上ルト同時ニ御挨拶申上ル次第デアリマス（大正八年府會速記録）

酒井議長は、會議の同意を得て、森田節平塚有を會議録署名議員に選定し、次に左の事項を報告した。

大正八年第一回臨時府會市部會郡部會議事參與員別記ノ通相命候此段及通知候也

大正八年六月十三日

東京府知事代理

東京府内務部長 岩

田

衛

東京府會議長

酒井

泰殿

(別記)

東京府内務部長

岩

田

衛

東京府理事官

羽

田

格

三

郎

第五章 府會の行動

大正八年の府會

東京府理事官 安井英二 東京府屬 大谷善次郎

大正八年第一回臨時府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ命ス

豫算の審議に入るに先ちて來る六月十六日故井上知事の府葬執行に際し、東京府會より靈前に弔辭を呈することとなり、其の起草委員に岡田榮一・中野勇治郎・牧野賤男・村上熊八・瀨沼伊兵衛・村林彦之・中島守利の七議員が選定され、村上熊八が委員長となつて弔辭案を起草し、本會に提出して可決を経た。其の弔辭文案は次の通である。

今茲大正八年六月十二日 東京府知事從三位勳二等法學博士井上友一閣下卒ニ病ヲ獲溢焉トシテ薨去セラル嗚呼哀哉閣下ノ官ニ在ルヤ心ヲ府政ノ振興ニ傾ケ畫策スル所頗ル多シ自治育英ノ事ヲ獎メ治水交通ノ事業ヲ起シ商工獎勵館ヲ設ケテ地方産業ノ發達ヲ圖リ慈惠救濟ノ施設ニ力ヲ致シ殊ニ國民思想ノ緩和善導ニ努メタルガ如キ其ノ最モ顯著ナルモノトス願フニ府政ノ改善ト産業ノ興隆ト能ク今日アルヲ得タル所以ノモノハ畢竟閣下盡瘁ノ資ナリ其ノ職務ニ忠實ニシテ其ノ功績ノ偉大ナル崇高ノ人格ト相俟テ府民ノ永ク欽慕シテ措ク能ハザル所ナリ而シテ今ヤ斯人亡シ吁嗟哀哉茲ニ府葬ヲ營ムニ臨ミ特ニ

東京府會ノ決議ヲ經謹テ弔意ヲ表ス

大正八年六月十六日

東京府會議長 酒井 泰

尙府葬執行に付ては、府會議員全員が委員となつて、葬儀事務を擔當することとなり、其の部署を總務掛五人・接待掛十五人・庶務掛十人・葬儀掛十五人・會計掛五人に分ち、酒井議長から夫々指名選定した。而して、委員長には、岩田内務部長、副委員長には、酒井府會議長が當ることゝなつた。

議事が終了したので、知事代理岩田内務部長が閉會の挨拶を述べて會を閉ぢた。

議案

府臨第一號議案 大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收

入割合中改正ノ件……………可決

府臨第二號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決

議決摘要

府臨第一號議案 大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中改正ノ件……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依ル大正八年度府費ニ關スル市郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通改正スルモノトス

市郡部分擔ノ割合中ニ左ノ一項ヲ加フ

府葬費

市 六分五厘
郡 三分五厘

(原案説明) 本件分擔割合ハ人口ニ據ルヲ相當ト認ムルニ由ル

府臨第二號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳入

經常部

第四款 市郡分賦額 金五萬圓

第一項 市郡分賦額 金五萬圓

經常部合計金五萬圓

歳入總計金五萬圓

歳出

臨時部

第二八款 府葬費 金五萬圓

第一項 府葬費 金五萬圓

臨時部合計金五萬圓

歳出總計金五萬圓

(原案説明) 東京府知事法學博士井上友一薨去ニ付府葬ヲ執行シ且弔慰ノ意ヲ表セントスルニ由ル

第一臨時市部會 第一回

本會は大正八年六月十三日午後三時九分に開議し即日議事終了午後三時十一分散會した。

村上議長は會議の同意を得て秋虎太郎田中武助を會議録署名議員に選定した。

議案

市臨第一號議案部

大正八年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可 決

議決摘要

第五章 府會の行動

大正八年の府會

市 臨第一號議案部 大正八年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

臨時部

第一款 繰 越 金 金參萬貳千五百圓

第一項 前年度繰越金 金參萬貳千五百圓

臨時部合計金參萬貳千五百圓

歳入總計金參萬貳千五百圓

歳 出

經常部

第七款 市郡分賦市部負擔額 金參萬貳千五百圓

第一項 市郡分賦市部負擔額 金參萬貳千五百圓

經常部合計金參萬貳千五百圓

歳出總計金參萬貳千五百圓

第一臨時郡部會

本會は、大正八年六月十三日午後三時十二分に開議し、即日議事終了、午後三時十分散會した。

村林議長は、會議の同意を得て、花井源兵衛、鶴岡英文を會議録署名議員に選定した。

議 案

郡 臨第一號議案部 大正八年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可 決

議決摘要

郡 臨第一號議案部 大正八年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

臨時部

第一款 繰 越 金 金壹萬七千五百圓

第一項 前年度繰越金 金壹萬七千五百圓

第五章 府會の行動 大正八年の府會

臨時部合計金壹萬七千五百圓
歳入總計金壹萬七千五百圓

歳出

經常部

第三款 市郡分賦郡部負擔額 金壹萬七千五百圓

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金壹萬七千五百圓

經常部合計金壹萬七千五百圓

歳出總計金壹萬七千五百圓

第二臨時府會

本會は、府會議員定數改正及特別手當豫算等議定の爲め招集せられたもので、大正八年八月二日午後二時八分に開會し、即日議事終了、午後四時三十六分閉會した。開會の當初、新任知事阿部浩が、次の通開會の辭を述べた。

「諸君本日ヲ以テ東京府臨時府會、市部會及郡部會ヲ開キマス。議案ハ既ニ御手許ニ御廻ハシニ及ビ置キマシタ。御審議御熟慮ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス。此

際ニ御同意ヲ得マシテ、チヨツト今回再任ヲ致シマシテカラ初メテ諸君ト此議事堂ニ於テ御會同ヲ致シマスコトハ誠ニ光榮ト存ジマス。今後ハ内外共ニ宜シク御補佐下サイマシテ、幸ニ職責ヲ全フ致シタイト存ジマス。(大正八年府會速記録)

(註) 阿部知事は、明治四十一年三月より大正元年十二月迄本府に知事として在任したことがあり、今回が知事として二度目の任官である。

又岩田内務部長は、次の通議案の大體を説明した。

「此議案ハ澤山ノ議案デアリマスガ、全體ガ聯絡シテ居リマスカラ一括シテ申上ゲタ方ガ分リ易イト思ヒマスカラ、一括シテ申上ゲル次第デアリマス。ソレデ今ノ議員定數以外ノ案ハ、府吏員ニ對スル臨時給與ノ件デアリマスガ、之ヲ提出致シマスノハ、過般國費ニ於キマシテ臨時手當支給ト致シマシテ、一割五分ヲ特ニ増額支給ニナリマシタヤウナコトデアリマシテ、府吏員モ此國費ノ關係上同ジ關係ニアリマスノデ、ソレデ此特別ナル支給ヲシタイト云フコトニナリマシタ次第デアリマス。總額ハ全體ヲ通ジテ五拾參萬壹千圓ニ相成マス。之ヲ警視廳ノ所管ト東京府ノ所管トニ分チマス。ト、警視廳ノ所管ハ四拾五萬壹千餘圓、東京府ノ所管ハ八萬餘圓ニナリマス。一體警視廳ノ所管ニ於キマシテハ、十分ノ六ノ國庫分擔金ガゴザイマスカラ、此残りノ四分ガ實際ノ負擔ニナル次第デアリマス。サウ云フヤウニ國庫ノ下渡金、補助金、請願巡查ノ徵收金、雜收入斯ウ云フ様ナ收入ヲ引キマスルト、差引實際ノ負擔ハ約拾八萬參百八拾壹圓、郡部ノ負擔ハ七萬八千九百圓トナルデアリマス。支給ノ負擔ハ約拾八萬參百八拾壹圓、郡部ノ負擔ハ七萬八千九百圓トナルデアリマス。支給ノ

方法ハ備員ニ對シテハ、給料ノ一割五分ト云フコトニ致シテ居リマス。ソレカラ俸給又ハ手當ノ月額四拾圓以下ノ者ハ其年額ノ一割五分、四拾圓以上六拾圓未滿ノ者ハ七拾貳圓六拾圓以上ノ者ニ對シマシテハ其年額ノ一割、高等官待遇者及内部ニ於テ高等官ノ待遇ヲ受クル者ニハ支給シナイ。斯ウ云フ支給方法ニナリマス。而シテ歳入ノ方面ニ付キマシテハ、之ヲ府税ニ賦課スルコトヲ避ケマシテ、七年度ノ繰越金ヲ以テ此市部ノ負擔ヲ支辨スルコトニナツテ居リマス。ソレカラ郡部ノ負擔七萬八千圓ト云フモノニ付キマシテハ、市部ノ積立金及郡部ノ積立金七萬七千圓ヲ運用イタシマス積リデ、其残り壹千何百圓ハ繰越金ニ依テ支辨イタシマス。其ノ他既往ノ超過額ガ五百圓餘アリマスカラ、之ヲ以テ收入ニ充テル積リデアリマス。大體是ダケ御説明申上ゲテ置キマス(大正八年府會速記録)

酒井議長は、次の事項を報告した。

未官發第一二七號

大正八年第二回臨時府會市部會郡部會議事參與員別紙ノ通相命候此段及通知候也

大正八年七月二十六日

東京府知事 阿部 浩

東京府會議長 酒井 泰殿

(別紙)

東京府内務部長 岩田 衛 東京府理事官 羽田 格三郎

東京府理事官	西村 輝一	東京府理事官	安井 英二
東京府技師	早崎 龜壽	東京府技師	鷯飼 長三郎
東京府屬	原 萬藏	東京府屬	長谷川 浪江
東京府屬	坪崎 信正	東京府屬	大谷 善次郎
東京府屬	船越 源一	東京府屬	岡 弘毅
東京府屬	木崎 角藏	東京府屬	石川 隆八

秘乙第七二〇號ノ二

大正八年七月三十一日

警視總監 岡喜七郎

東京府會議長 酒井 泰殿

議事參與員任命通知ノ件

警視廳官房主事	本間 利雄	警視廳警務部長	野口 淳吉
警視廳保安部長	熊谷 巖	警視廳衛生部長	福永 尊介
警視廳消防部長	緒方 惟一郎	警視廳屬兼警視	小林 光政
警視廳警部兼屬	淺田 福一郎	警視廳警部兼屬	林 千次郎
警視廳警部兼屬	平田 宗紀		

右ハ府縣制第四十九條ニ依リ大正八年第二回臨時府會市部會郡部會ノ議事ニ
參與ヲ命シ候ニ付此段及通知候也

議長は會議の同意を得て、木内傳之助、木下勝太郎を會議錄署名議員に選定した。
議事が終了したので阿部知事は閉會の辭を述べて會を閉ぢた。

議案

府二臨第一號議案 各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府會議員數改正

ノ件……………可決

府二臨第二號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決

府二臨第三號議案 大正八年度東京府商工獎勵館歳入歳出追加

豫算書……………可決

議決摘要

府二臨第一號議案 各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府會議員數

改正ノ件……………可決

府縣制第五條ニ依リ各選舉區ニ於テ選舉スヘキ府會議員數左ノ通改正スルモノ

トス

東京市麴町區選舉區	一	人
東京市神田區選舉區	三	人
東京市日本橋區選舉區	三	人
東京市京橋區選舉區	四	人
東京市芝區選舉區	四	人
東京市麻布區選舉區	二	人
東京市赤坂區選舉區	一	人
東京市四谷區選舉區	一	人
東京市牛込區選舉區	三	人
東京市小石川區選舉區	四	人
東京市本郷區選舉區	三	人
東京市下谷區選舉區	四	人
東京市淺草區選舉區	五	人
東京市本所區選舉區	五	人

東京市深川區選舉區	四人
八王子市選舉區	一人
荏原郡選舉區	四人
豐多摩郡選舉區	五人
北豐島郡選舉區	六人
南足立郡選舉區	一人
南葛飾郡選舉區	四人
西多摩郡選舉區	二人
南多摩郡選舉區	二人
北多摩郡選舉區	二人

(原案説明) 大正八年七月十七日內閣ヨリ公示セラレタル大正七年十二月三十一日現住人口ニ依リ算定ノ結果異動ヲ生スルニ由ル

府二臨第二號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……可決

歳入

經常部

第二款 國庫下渡金 金貳萬八千貳百拾九圓八拾六錢

第一項 警察費下渡金 金貳萬八千貳百拾九圓八拾六錢

第三款 雜收 金四拾參圓九拾貳錢

第四款 市郡分賦額 金八萬七千四百七拾九圓參拾八錢

第一項 市郡分賦額 金八萬七千四百七拾九圓參拾八錢

經常部合計金拾壹萬五千七百四拾參圓拾六錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金百七圓拾六錢

第一項 傳染病豫防費補助金 金貳拾壹圓拾五錢

第三項 感化院費補助金 金八拾六圓壹錢

臨時部合計金百七圓拾六錢

歳入總計金拾壹萬五千八百五拾圓參拾貳錢

歳出

經常部

第一款 警察費 金四萬七千參拾參圓拾錢

第一項 俸給及諸給 金四萬七千參拾參圓拾錢

警察醫員其ノ他特別手當臨時增給

第三款 土木費 金千四百貳圓六拾九錢

第一項 道路橋梁費 金七百貳拾四圓六拾八錢

諸傭人特別手當臨時增給

第二項 治水堤防費 金六百七拾八圓壹錢

同上

第四款 府會議諸費 金貳百九拾五圓參拾六錢

第一項 府會議費 金貳百九拾五圓參拾六錢

第五款 衛生及病院費 金壹萬千百貳拾九圓貳拾參錢

第一項 衛生諸費 金參百圓參拾七錢

吏員職員特別手當臨時增給

第二項 巢鴨病院費 金六千五百參拾圓四拾六錢

同上

第三項 娼妓病院費 金參千貳百拾八圓四拾錢

同上

第四項 屠畜檢查費 金千八拾圓

同上

第六款 教育費 金參萬六千七百六拾參圓六拾七錢

第一項 青山師範學校費 金參千四百參拾四圓四拾四錢

職員雇員傭人特別手當臨時增給

第二項 豐島師範學校費 金參千六百拾四圓參拾四錢

同上

第三項 女子師範學校費 金參千五拾壹圓貳拾五錢

同上

第四項 第一中學校費 金貳千七百五拾七圓四拾錢

同上

第五項 第二中學校費 金千六百貳拾壹圓拾貳錢

同上

第六項 第三中學校費 金貳千五百參拾圓貳拾五錢

職員雇員傭人特別手當臨時增給

第七項 第四中學校費 金貳千六百六拾參圓七拾四錢

同上

第八項 第五中學校費 金六百七拾五圓七拾錢

同上

第九項 第一高等女學校費 金貳千五百拾圓貳拾九錢

同上

第十項 第二高等女學校費 金五百九拾八圓九拾貳錢

同上

第十一項 第三高等女學校費 金貳千參百七圓四拾九錢

同上

第十二項 第四高等女學校費 金千百六拾貳圓五拾七錢

同上

第十三項 第五高等女學校費 金百七拾壹圓七拾五錢

同上

第十四項 織染學校費 金千四百拾八圓八拾錢

同上

第十五項 工藝學校費 金貳千五百貳拾八圓貳拾貳錢

同上

第十六項 職工學校費 金貳千貳百八圓貳拾八錢

同上

第十七項 園藝學校費 金千五百九拾壹圓九拾八錢

同上

第十八項 農林學校費 金千八拾圓七拾八錢

同上

第十九項 商業學校費 金七百八拾四圓六拾錢

同上

第二十項 工業學校費 金五拾壹圓七拾五錢

同上

第九款 勸業費 金參千四百五拾九圓拾參錢

第二項 勸業諸費 金貳千六百七拾六圓拾參錢

職員雇員傭人特別手當臨時增給

第三項 森林改良費 金百七拾六圓四拾錢

同上

第四項 獸疫豫防費 金六百六圓六拾錢

同上

第十款 府費取扱費 金參拾六圓

第一項 徵收費 金參拾六圓

雇員特別手當臨時增給

第十款 府吏員費 金壹萬四千九百九拾九圓八錢

第一項 吏員費 金壹萬四千九百九拾九圓八錢

府吏員及傭人特別手當臨時增給

第十款 感化院費 金五百拾六圓六錢

第一項 小笠原修齊學園費 金五百拾六圓六錢

職員及傭人特別手當臨時增給

第十款 救濟事業費 金貳百拾六圓

第一項 救濟事業費 金貳百拾六圓

職員特別手當臨時增給

經常部合計金拾壹萬五千八百五拾圓參拾貳錢

歲出總計金拾壹萬五千八百五拾圓參拾貳錢

府二臨第三號議案 大正八年度東京府商工獎勵館歲入歲出

追加豫算書……………可決

歲入

第一款 商工獎勵館收入 金七百九拾壹圓六拾八錢

第三項 普通經濟編入金 金七百九拾壹圓六拾八錢

歲入合計金七百九拾壹圓六拾八錢

歲出

第一款 商工獎勵館費 金七百九拾壹圓六拾八錢

第一項 俸給及諸給 金七百九拾壹圓六拾八錢

吏員職員傭人特別手當臨時增給

歲出合計金七百九拾壹圓六拾八錢

第二臨時市部會

本會は大正八年八月二日午後四時一分に開議し、即日議事終了、午後四時六分散會した。

村上議長は、會議の同意を得て、矢野鉉吉松見文平を會議録署名議員に選定した。

議案

市 二臨第一號議案部 大正八年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

市 二臨第二號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

市 二臨第三號議案部 大正八年度東京府市部請願巡查並消防費徵收額改正ノ件……………可決

議決摘要

市 二臨第一號議案部 大正八年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第十款 國庫下渡金 金拾八萬千百貳拾壹圓拾錢

第一項 警察費下渡金 金拾八萬千百貳拾壹圓拾錢

第二款 雜收 金八千九百五拾九圓貳拾錢

第三款 市郡連帶市部收入額 金貳萬參千五百拾八圓拾五錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金貳萬參千五百拾八圓拾五錢

經常部合計金貳拾壹萬參千五百九拾八圓四拾五錢

臨時部

第一款 繰越金 金拾八萬參百八拾壹圓八拾錢

第一項 前年度繰越金 金拾八萬參百八拾壹圓八拾錢

臨時部合計金拾八萬參百八拾壹圓八拾錢

歲入總計金參拾九萬參千九百八拾圓貳拾五錢

歲出

經常部

第一款 警

察 費

金參拾壹萬八百貳拾七圓七拾錢

第一項 俸 給 及 諸 給

金參拾壹萬八百貳拾七圓七拾錢

警察書記其ノ他特別手當臨時増給

第七款

市郡分賦市部負擔額

金八萬參千五百貳拾圓五拾五錢

第一項 市郡分賦市部負擔額

金八萬參千五百貳拾圓五拾五錢

經常部合計金參拾九萬參千九百八拾圓貳拾五錢

歲出總計金參拾九萬參千九百八拾圓貳拾五錢

市 二臨第二號議案

特別經濟運用ニ關スル件……………可 決

大正八年度郡部經濟市部負擔歲出ノ追加ニ充ツル爲東京府市部積立金金四萬五千圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟へ運用スルモノトス

一 運用金ハ大正八年度末ニ於テ運用スルモノトス

一 運用金ニハ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ以テ利子ヲ付シ大正九年九月ニ於テ前六

箇月分ヲ仕拂フモノトス

一 運用金ハ大正九年度九月ニ於テ全額ヲ戻入スルモノトス

市 二臨第三號議案

大正八年度東京府市部請願巡查竝消防費徵收

額改正ノ件……………可 決

大正八年度東京府市部請願巡查竝消防費徵收額大正八年八月分以降左ノ通改正スルモノトス

一金六拾貳圓七拾錢

巡查一人一箇月分

一金五拾六圓七拾錢

消防手一人一箇月分

第二臨時郡部會

本會は大正八年八月二日午後四時七分に開議し、即日議事終了、午後四時三十八分散會した。

村林議長は、會議の同意を得て、中村半左衛門、朝倉虎治郎を會議録署名議員に選定した。

議案

二郡部 二臨第一號議案 大正八年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決
 二郡部 二臨第二號議案 特別經濟運用ニ關スル件……………可決
 二郡部 二臨第三號議案 特別經濟運用ニ關スル件……………可決
 二郡部 二臨第四號議案 大正八年度東京府郡部請願巡查費徵收額改正ノ件……………可決

議決摘要

二郡部 二臨第一號議案 大正八年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

經常部

第十款 國庫下渡金 金五萬千六百八拾八圓參拾八錢
 第一款 警察費下渡金 金五萬千六百八拾八圓參拾八錢
 第二款 雜收入 金貳千八拾圓
 第三款 請願巡查費納付金 金四千八百五拾貳圓七拾九錢
 第一款 請願巡查費納付金 金四千八百五拾貳圓七拾九錢

經常部合計金五萬八千六百貳拾壹圓拾七錢

臨時部

第一款 繰越金 金千參百九拾六圓參錢
 第一款 前年度繰越金 金千參百九拾六圓參錢
 第六款 運用金 金七萬七千圓
 第一款 運用金 金七萬七千圓

臨時部合計金七萬八千參百九拾六圓參錢

歳出

經常部

第一款 警察費 金八萬八千貳百貳拾七圓參拾錢
 第一款 俸給及諸給 金八萬八千貳百貳拾七圓參拾錢
 警察書記其ノ他特別手當臨時増給
 第三款 土木費 金六千六百七拾五圓八拾四錢
 第一款 道路橋梁費 金六千六百七拾五圓八拾四錢

諸傭人特別手當臨時増給

第四款 郡 役 所 費 金七千六百四拾七圓七拾貳錢

第一項 俸 給 及 諸 給 金七千六百四拾七圓七拾貳錢

郡書記其ノ他特別手當臨時増給

第八款 勸 業 費 金貳千參百參拾四圓七拾壹錢

第一項 農 事 試 驗 場 費 金千參百八拾參圓七拾九錢

職員其ノ他特別手當臨時増給

第二項 勸 業 諸 費 金百拾壹圓六拾錢

同 上

第三項 耕 地 改 良 費 金六百七拾壹圓九拾貳錢

同 上

第四項 公有林野造林獎勵費 金百六拾七圓四拾錢

同 上

第三款 市郡分賦郡部負擔額 金參萬貳千六百九拾七圓七拾七錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金參萬貳千六百九拾七圓七拾七錢

經常部合計金拾參萬七千五百八拾參圓參拾四錢
歲出總計金拾參萬七千五百八拾參圓參拾四錢

郡 二臨第二號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可 決

大正八年度郡部負擔歲出ノ追加ニ充ツル爲東京府郡部積立金ヨリ金七千圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟へ運用スルモノトス

一大正八年度末ニ於テ運用スルモノトス

一運用金ニハ利子ヲ附セス

一運用金ハ大正九年度ニ於テ全額ヲ戻入スルモノトス

郡 二臨第三號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可 決

大正八年度市郡負擔歲出ノ追加ニ充ツル爲東京府郡部積立金ヨリ金貳萬五千圓東京府市部積立金ヨリ金四萬五千圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟へ運用スルモノトス

一大正八年度末ニ於テ運用スルモノトス

一 運用金中郡部積立金ヨリ運用スル分ニハ利子ヲ附セス市部積立金ヨリ運用スル分ニハ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ以テ利子ヲ付シ大正九年度九月ニ於テ支拂フモノトス

一 運用金ハ大正九年度ニ於テ左記ノ通戻入スルモノトス

九月 市部積立金 金四萬五千圓

三月 郡部積立金 金貳萬五千圓

郡部
二臨第四號議案

大正八年度東京府郡部請願巡査費徵收額改正

ノ件……………可決

大正八年度東京府郡部請願巡査費徵收額大正八年八月分以降左ノ通改正スルモノトス

一金六拾壹圓貳拾錢

巡査一人一箇月分

第三臨時府會

本會は、府會議長並同副議長選舉の爲め招集せられたもので、大正八年十月十三

日午後七時に開會し、會議二日間に涉り、十月十九日午後十二時に至り會期盡きたる爲め自然散會となつた。

開會の當初、知事阿部浩は、次の開會の辭を述べた。

「諸君、本日ヲ以テ府會ノ議長、其他ノ役員選舉ヲ行ヒマスガ爲ニ、府會及市部會郡部會ヲ招集イタシマシタ。法規ニ依リマシテ速ニ選舉アラムコトヲ希望イタシマス（大正八年府會速記録）

年長議員花井源兵衛が議長代理として假議長の選舉を行ひ、會議の推選に依つて其の儘假議長となつた。

假議長は會議の同意を得て、淺賀長兵衛、平林淺次郎を會議録署名議員に選定した。

この會議の目的たる府會議長の選舉は、開會初日に於ては、竟に選舉を行ふに至らず、十月十五日は日程を定めたが流會となり、同月十九日に至つて、議員本田義成の發議に基き指名推選の法を以て、花井源兵衛が議長に當選した。然し副議長の選舉は會期が盡きた爲め遂に之は行ふことが出来なかつた。

第三臨時市部會

本會は市部會議長・同副議長・名譽職參事會員・同補充員選舉の爲め招集せられたもので、大正八年十月十三日午後七時十二分に開議し、十月十九日に引續き開いたが、會期が盡きた爲め同日午後十二時自然散會となつた。

年長議員大井玄洞が議長代理として假議長の選舉を行つたが、會議の推選に依り其の儘假議長となつた。

假議長は、會議の同意を得て、須原大助・野村此平を會議録署名議員に選定した。

會議初日は、本會議と同様に選舉を執行するに至らず、十月十五日は日程を定め、たが流會となり、同月十九日會議を開いたが、選舉を行ふに至らず會期が盡きて自然散會となつた。

第三 臨時郡部會

本會は、郡部會議長・同副議長・名譽職參事會員・同補充員の選舉を行ふ爲め招集せられたもので、大正八年十月十三日午後七時十八分に開議し、同月十九日午後十一時五十九分散會した。

年長議員花井源兵衛が議長代理として假議長の選舉を行ひ、會議の推選に依つ

て、其の儘假議長となつた。

假議長は、會議の同意を得て、井田忠信・小川平吉を會議録署名議員に選定した。

假議長は、郡部會議長の選舉を行ひ、指名推選に依つて、井田忠信が當選した。

井田議長は、郡部會副議長の選舉を行ひ、指名推選に依つて小川時太郎が當選した。

次に議長は、名譽職參事會員の選舉投票を行ひ、次の通當選した。

名譽職參事會員

- 淺賀長兵衛
- 中島守利
- 根岸太助
- 朝倉虎治郎
- 大木金兵衛

次に名譽職參事會員補充員の選舉を行ふべきのところ、會期が盡くるに垂んとした爲め、之を行はず閉會した。

第四臨時府會

本會は、府會副議長選舉の爲め招集せられたもので、大正八年十一月四日午後二時四十三分に開會し、會議三日間に涉り、十月十日午後十時三分選舉終了閉會した。開會の當初、知事阿部浩は、次の開會の辭を述べた。

〔諸君本日ヲ以テ、大正八年第四回臨時府會ヲ開會イタシマス。副議長以下役員ノ選舉ヲセラレムコトヲ希望イタシマス(大正八年府會速記録)〕

花井議長は、會議の同意を得て、片山久藏木内傳之助を會議録署名議員に選定した。

議長は、府會副議長の選舉投票を行つたところ、得票者四名にして、何れも過半数の得票がなく、依て最高點者中野勇治郎、矢野鉞吉の二名に就て決選投票を行ひ、中野勇治郎が當選した。

選舉が終了したので、岩田内務部長が、知事の代理として閉會の辭を述べ、會を閉ぢた。

第四臨時市部會

本會は、市部會議長、同副議員、名譽職參事會員、同補充員選舉の爲め招集せられたもので、大正八年十一月四日午後二時五十一分に開議し、會議三日間に涉り、十一月十日午後十時選舉終了閉會した。

年長議員大井玄洞が議長代理として假議長の選舉を行ひ、會議の推選に依て、其の儘假議長となつた。

假議長は、會議の同意を得て、杉山金次郎、高橋俊太を會議録署名議員に選定した。假議長は、市部會議長の選舉投票を行つたところ、得票者四名何れも過半数の得票がない爲め、最高點者大井玄洞、松村清吾の二名に就て決選投票を行ひ、大井玄洞が當選した。

大井議長は、市部會副議長の選舉投票を行つたが、之れ又、得票者三名何れも過半数の得票がない爲め、最高點者二名に就て決選投票を行ひ、細谷鎌太郎が當選した。議長は、名譽職參事會員五名、同補充員五名の選舉投票を順次に行ひ、次の通夫々當選した。

名譽職參事會員

田 中 信 次 郎

須原大助

田中友右衛門

高橋俊太

村田權次郎

名譽職參事會員補充員

杉山金次郎

本宮辰次郎

坂倉吉兵衛

櫻井三右衛門

小池素康

第四 臨時郡部會

本會は、名譽職參事會員補充員選舉の爲め招集せられたもので、大正八年十一月四日午後三時十二分に開議し、即日選舉終了、午後三時五十八分閉會した。

井田議長は、會議の同意を得て、鈴木儀兵衛、栗山友次郎を會議録署名議員に選定

した。

議長は、名譽職參事會員補充員五名の選舉投票を行ひ次の通當選した。

名譽職參事會員補充員

伊藤祐治

田中源

小柳九一郎

栗山友次郎

篠房輔

通常府會

本會は、大正八年十二月一日午後二時三十五分に開會し、會議九日間に涉り、十二月二十八日午後六時三十一分議事終了、閉會した。

開會の當初、知事阿部浩は、次の開會の辭を述べた。

「本日ヲ以テ通常府會市部會郡部會ヲ開催ス。大正九年度豫算ノ編成ニ當リテハ、現下内外ノ趨勢ニ照應シ、畫策施設スヘキモノ多々アルモ、一面負擔力ニ付テモ考慮ヲ要スベキガ故

ニ、諸般經費ノ節約ヲ旨トシタルハ勿論、施設事業ノ如キ緊要誠ニ已ムコトヲ得ザルモノノミノ計上ニ止メタリ

大正九年度豫算ノ總額ハ、千九百五拾五萬八千圓ニシテ、内東京府所管千八萬八千圓警視廳所管九百四拾七萬圓ナリ。今之ヲ前年通常會議決豫算ニ比スレバ、六百拾六萬貳千圓ノ増加ニシテ、此内法令ノ結果ニ依ル主ナルモノ四拾萬圓、既定計畫ニ依ル増加ノ主ナルモノ八拾壹萬圓ニシテ、四百九拾五萬圓ハ物價騰貴ニ依ル増加額竝緊要已ムコトヲ得ザル新事業費ニ屬セリ

新事業トシテ、交通ニ就テハ其設備ノ完成ヲ期スル爲、東京市ヲ包圍スベキ環狀道路及放射道路ノ改修事業及河川改良工事附帶工事ニ伴フ四橋梁新架等土木事業ノ主ナルモノニシテ、教育ニ付テハ、中等教育竝ニ補習教育ノ發展ヲ計リ、私立中學校竝高等女學校ニ對スル補助、府立中學校理科特別教室ノ建築、商業學校一校ノ増設、農業補習教員養成ニ關スル事業等、其ノ主要ノモノナリトス。産業ニ付テハ、農事試驗場ノ移轉、改築、種畜場ノ新設、警察ニ付テハ消防手ノ増員、神樂坂大塚龜戸府中ノ四警察署建築工事、吉原娼妓病院ノ改築等、其主要ナルモノニ屬シ、此ノ他物價騰貴ノ實情ニ鑑ミ、一般府費支辨ニ屬スル官吏吏員職員等ノ増俸増給約貳百八拾萬圓ヲ計上シタリ

以上ハ歲出ニ關スル大要ニシテ、其歲入ニ付テハ稅外收入ノ增收ニ留意シタルコト勿論ナルモ、都市計畫事業ニ伴フ特別稅四拾參萬圓ノ外尙ホ百五拾壹萬六千圓ハ増稅ニ依リ之ヲ支辨スルコト、セリ

以上大正九年度豫算ニ關スル概要ナルモ、議案ニ對スル詳細ノ說明ハ、隨時本官又ハ參與員ヨリ説明スベシ。冀クハ審案熟議適當ノ決議アラムコトヲ(大正八年府會速記録)

而して岩田内務部長は、豫算の概要を次の通説明して、知事の演説を補足した。

〔前略〕大正九年度ノ歲出總計ハ、千九百五拾五萬八千圓ニ相成ツテ居リマス。其内東京府ノ所管ニ屬シマスモノハ、壹千八萬八千餘圓、又警視廳ノ所管ニ屬シマスモノハ、九百四拾七萬圓デアリマス。(中略)サウ致シマシテ前年度豫算ニ比シ増額致シマシタ額ハ、六百拾六萬貳千圓ト相成ツテ居リマス。此増額ノ内譯ヲ申シマスレバ、東京府所管ガ四百四萬圓警視廳所管ガ貳百拾貳萬貳千圓ト相成ツテ居リマス。ソレカラ繼續年度ニ付テモ、既定ノ計畫ニ依ル増額ノ主ナルモノガ、八拾壹萬圓計リト相成ツテ居ルノデアリマス。其殘リノ四百九拾五萬貳千圓ガ、本年度ニ於ケル新事業竝ニ物價騰貴等ニ依ル増額ニ屬スルモノデアリマス。其所謂新事業竝ニ物價騰貴ニ依ル増額ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、第一ニ警視廳方面ニ於テ、警視以下巡查消防手ノ宿料ノ増額ガ貳拾八萬八千圓、消防手百名ノ増員諸費ガ七萬貳千圓、水管五百個購入ガ參拾六萬九千圓、娼妓病院建設費ガ二箇年繼續デ夫是本年度ノ支出額ガ拾壹萬八千圓、神樂坂大塚新宿龜戸府中ノ四警察署建築及中野原庭兩警察署敷地購入費ガ拾九萬九千貳百圓、其他物價騰貴ニ依ル廳費、旅費、機密費拾萬圓ヲ拾五萬圓ニ増額等増加額ハ種々ニ相成ツテ居リマス。次ニ土木ノ方面ニ於テ、最モ重大ナル事業ハ都市計畫ノ事業デ、此ノ東京市ヲ取廻ハス環狀道路竝ニ之ニ伴フ放射道路デ、環狀道路ノ延長ハ約八里放射道路ノ延長ハ約七里程ト相成ツテ居リマス。幅員八十間デ八箇年繼續工事ト

致シマシテ總工費千八百四萬圓デ、大正九年度分ガ參拾九萬參千九百圓ト相成ツテ居リマス。其他都市計畫ニ伴フ事務費ガ五萬九千圓、ソレカラ荒川ニ架設スベキ千住ノ新橋(鐵橋)ガ、二箇年繼續トシテ總工費六拾萬參千貳百圓デ、本年度ノ支出額ハ參拾貳萬六千八百圓ト相成ツテ居リマス。次ニ荒川改良工事ノ附帶工事トシテ、上平井橋、江北橋、葛西橋等ヲ新ニ架設スルノデ、二箇年繼續トシテ五拾壹萬八千六百五拾圓、内本年度支出額ハ貳拾六萬四千圓ト相成ツテ居リマス。其他陸前濱街道分道改修費、南多摩ノ川和道、青梅道改修補助費、斯様ノモノヲ主ナル新事業トシテ計上致シタノデアリマス。次ニ教育費デハ、私立中學校高等女學校ノ補助費拾萬圓ヲ計上シマシタ。私立中學ハ三十一校、私立女學校ガ二十六校是等ニ對シ相當ノ比例ヲ以テ補助スルコトニ致シマシタ。ソレカラ八王子市ニ商業學校ヲ一校建設スル計畫デ、之ニ對シ八王子市カラ土地建物竝ニ五萬圓ヲ寄附スルコトニ相成ツテ居リマス。臨時部ハ之ニ依テ全部充タサレル筈デ、經常費ハ貳萬圓新ニ増額ニナル譯デアリマス。次ニ農業補習教員養成費八千八百圓ヲ計上致シマシタ。其他視學員ノ新設參千圓、師範學校ノ生徒被服費ガ壹萬九千圓、ソレカラ第一第二第三第四中學校ニ、理科ノ特別教室増設及女子師範學校敷地購入費ヲ合セテ拾七萬六千圓ヲ計上イタシマシタ。次ニハ産業關係ニ於テ農事試驗場ガ中野金町、日野ノ三箇所ニ分立シテ居タノヲ合併シテ、更ニ本場ヲ移轉改築シ、且ツ從來ハ借地デアツタノヲ、今回ヲ機トシテ地所ヲモ購入スル積リデ、其總工費拾八萬九千圓、二箇年繼續デ本年度支出額ハ拾四萬貳千圓ト相成ツテ居リマス。而シテ農事試驗場ニ種畜場ヲ附設スルコトニイタシマシテ、三箇年繼續トシテ總工費ガ拾壹

萬參千圓、本年度ノ支出額ハ壹萬七千六百圓デ、其ノ約半額ハ國庫ノ補助ガアル筈デアリマス。其他勞資協調等ノ調査費五千圓ヲ計上シ、同業組合獎勵及優良職工表彰ノ爲ニ四千圓ヲ計上致シマシタ。其他國勢調査準備費壹萬壹千圓、南葛飾郡役所改築費五萬六千圓、兒童保護院新設費壹萬五千圓、ソレカラ兒童保護所救濟委員制度等社會政策的助成費貳萬貳千圓等ヲ計上致シマシタ。次ニ最モ大ナル増額ハ、府費支辨ノ官吏、吏員、職員等ノ増俸増給デアリマス。昨年ニ比シ七割ノ増額ヲ計上シマシタ。尤モ傭人ニ對シテハ、八割ノ増額ト相成ツテ居リマス。從テ現ニ特別手当トシテ支給シテ居ル五割増ノ支給ハ、自然廢止トナツテ増俸増給ニ統一サレル筈デアリマス。以上ガ歳出ニ屬スル新事業ノ増額ノ大要デアリマス。次ハ歳入デ歳入總額ハ千九百五拾六萬五千圓デアツテ前年度ニ比シテ、六百拾六萬七千圓ノ増額ニ相成ツテ居リマス。其内譯ハ國庫下渡金、國庫補助金、或ハ交付金手數料ノ如キ稅外收入ニ於テ、貳百七拾參萬五千圓ノ増額ニ相成ツテ居リマス。府稅增收ノ總額ハ參百參拾七萬八千圓デアリマシテ、其内譯ヲ申セバ、戶口其他ノ増加ノ結果、自然增收ガ百四拾貳萬九千圓、ソレカラ都市計畫法ニ依ル特別稅ガ四拾參萬壹千圓、時局ノ影響ニ因ル制限外課稅ノ增收ガ六拾五萬參千圓ト相成ツテ居リマス。ソレデ殘リノ八拾五萬參千圓ト申スモノガ純粹ナル府稅ノ増稅ニ相成ツテ居ルヤウナコトデアリマス。此等ノ増稅ニ付テハ、市部郡部ニ依テ多少率ヲ異ニ致シマスガ、地租割附加稅雜種稅、家屋稅等モ少シヅ、増率ヲ致シテ居ル様ナコトデアリマス。殊ニ家屋稅ニ付テハ、參萬圓以上ノ價格アル所ノ家屋ヲ十六等ニ分チ、ソレニ社會政策的ノ考ヲ加味シテ、累進率ヲ取リマシテ計上致シマシタ。

之ガ市郡ヲ通ジテ約貳拾九萬圓程ノ稅額ニナツテ居リマス(以下略)大正八年府會速記録ニ

花井議長は次の事項を報告した後、會議の同意を得て矢野鉷吉村上熊八を會議

録署名議員に選定した。

未官發第二一三號

大正八年通常府會市部會郡部會議事參與員別紙ノ通相命候條此段及通知候也

大正八年十一月二十九日

東京府知事 阿部 浩

東京府會議長 花井源兵衛殿

(別紙)

東京府内務部長	岩田 衛	東京府事務官	遠藤 柳作
東京府理事官	小栗 一雄	東京府理事官	木村 惇
東京府理事官	西村 輝一	東京府理事官	齋藤 樹
東京府技師	早崎 龜壽	東京府技師	宮島 三郎
東京府技師	佐藤 信哉	東京府技師	山下 利兵
東京府技師	鶴飼長三郎	東京府技師	齋藤良太郎
東京府技師	竹村 全之	東京府屬	原 萬藏
東京府屬	池内才次郎	東京府屬	大谷善次郎

東京府屬	船越 源一	東京府屬	岡 弘毅
東京府屬	木崎 角藏	東京府屬	南 孝夫
東京府屬	村田 佐吉	東京府屬	林田 芳徳
東京府屬	青木 春好	東京府屬	石川 隆八
東京府屬	野坂 耕輔	東京府技手	坂東安次郎
東京府技手	岡本 弦		

秘乙第一二〇五號ノ二

警視廳官房主事	本間 利雄	警視廳警務部長	宮崎 通之助
警視廳保安部長	熊谷 巖	警視廳衛生部長	福永 尊介
警視廳消防部長	緒方 惟一郎	兼警視廳警部	兼警視廳屬部
警視廳技手	松本 録壽		淺田 福一郎

右ハ本日府縣制第四十九條ニ依リ大正八年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ命シ候間此段及通知候也

大正八年十一月二十九日

警視總監 岡 喜七郎

東京府會議長 花井源兵衛殿

第五章 府會の行動 大正八年の府會

會議第二日の十二月八日に岡警視總監が出席して、警察費豫算に關する大體の説明を試み兼ねて所管事務に就ての過去現在の状態から、將來に涉る抱負等を述べた。爰に其の概要を掲げる。先づ、去る大正七年六月臨時府會の協賛を得た、巡查約三千名増員の計畫が、本年三月を以て完了したる旨を述べ、其の増員の結果として、従來の二部勤務制を三部勤務制に改め、目下は試験時代に屬するが、諸方面に於て能率を増進しつゝあるのは明瞭なる事實である。又諸般設備の完成(例へば水上署モーター船、専用電話の普及等)に伴つて警察の行動が著しく敏活となることが出來た。又諸方面の同情に依て、巡查合宿所が十箇所も出來た。又勞働問題思想問題に關しては、本年は十一月現在で勞働團體が四十六、思想團體が二十三であるが、之に對しては、夫々適當の處置を採て居る。保安警察の方面では、都市計畫の進むに伴ひ商工業工場住宅等各地帯の區別が漸次明かになるから、之に處する方針も折角計畫してゐる。又建築、人事相談、活動寫眞の甲乙種の區別廢止、小錢拂底に伴ふ兩替屋の惡弊防止の爲め、兩換營業取締規則の發布、揮發油貯藏取締、市場移轉問題、二業地若は三業地指定出願に對する方針、消防設備の擴張完備に伴ふ火災保險料率の低下も必ずや實現するであらうと述べ、最後に、機密費五萬圓増額を

要求したるの已むを得ざる事由を陳べた。

この會議に於て、最も議場を緊張させ、連日に亘つて質問が續出したのは、公設市場に關する問題である。昨年の米騒動以來富豪又は特志家等の寄附金を基本として、日用品市場協會を設立し、其の經營の下に、東京府公設市場を市郡の各所に設け、中産階級以下の生活緩和を圖つたのである。其の反動であるかどうかは分らぬが、各種小賣商の間に非難反對の聲が熾んに起つた結果、自然議場に於ても問題となつたものと思はれる。而して、連日小賣商人と見える傍聽人が殺到して、議事中連りに賛否の聲を發する等喧騒を極めたので、竟に議長が傍聽席に向て警告を發するに至つた。この問題が如何に當時府民一部の關心を惹いたかを知るべきである。議員の質問者は、本田義成、森田勇治、田中愷、吾大石、保松井、錦橋、村上熊八、井田忠信、秋好善太郎、小森七兵衛、大野菊三、吉井濱治郎等であつて、之に答辯した理事者は、内務部長岩田衛理事官木村惇であつた。今其の質問應答の大要を次に掲げる。

問、公益法人たる日用品市場協會の經營する公設市場に、東京府公設市場といふ看板を掲げて居るのは如何なる理由か。

答、東京府公設市場と稱するは、東京府下なるが爲め斯く稱ふるに過ぎず、所謂俗名とも云ふべきか、深き理由あるにあらず。

問、公設市場の可否は別問題とし、これが爲め業者が大なる打撃を受け、慘憺たる悲境に陥つた者もあり、將來益々増加するであらう。これは由々しき社會問題である。之に對する當局の所見如何。

答、今日迄の處では、非常なる影響を與へたりとは認めぬが、慎重に考慮中である。問、市場及業者に對する課税は、如何に取扱ふか。又中央市場を設置して、物價の調節を圖ると同時に、小賣業者をも救済する企はないか。

答、公設市場の建物は公益法人たる協會の所有なれば課税せず。但し市場内の各個業者に對しては課税する。中央市場を設置することは理想として賛成なるも、大問題なれば慎重に研究調査中である。

問、公設市場の營業品は、粗悪だとの非難がある。當局は如何に之を認むるか。答、市場の賣品が粗悪であるとの非難に對しては、嚴に監督する積りである。

問、公設市場は、將來永く存続せしむる方針であるか。又之を設置せる眞の目的は如何。

答、物價調節上利益ある以上は、自然存続せしむることゝならう。設置の眞の目的は物價の調節と中産階級以下の生活を緩和するにある。

問、小賣商人が反對の氣勢を擧げ居るに對し、當局の所見如何。

答、小賣商人の反對には事實と相違の點もあり、又其の陳情中には考慮を要する事項もあるので、それ等の事項に付ては折角調査中であつて、改むべきは改むる考へである。

十二月二十八日議事が終了したので、阿部知事は次の閉會の辭を述べて會を閉ぢた。

「諸君 今日ヲ以テ、大正八年東京府通常議會ノ閉會ヲ致シマス。開會以來數日間諸君ノ御勵精ナル、殊ニ本年ノ提案ハ前年度ニ比シマシテ、凡ソ四分ノ一内外ヲ増加致シテ居リマスニモ拘ハリマセズ、諸君ハ御勵精ヲ以テ御審査下サイマシテ、幸ニ大削減ナク御決議下サツタ事ハ、深ク御禮ヲ申上マス。畢竟此増加ハ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、餘儀ナキ増加デアリマスガ、諸君ノ明達ナル、幸ヒ時勢ニ順應セラレテ、御決議下サレタル段ハ、深ク敬意ヲ表シマス。之ガ執行ニ付キマシテハ、責任ヲ以テマシテ、過失ナク進行致シマスコト、決心イタシテ居リマス。幸ニ御諒察アラムコトヲ希望イタシマス。終ニ臨ミマシテ、諸君ノ御健康ヲ祈リマス。尙又警視廳ノ増額等モ、幸ニ御決議下サイマシテ、是亦深ク感謝ノ意ヲ表シマス。

私ヨリ御挨拶ヲ致スベキヤウ警視總監ノ委囑デゴザイマスカラ茲ニ重ネテ御挨拶ヲ申上
マス(大正八年府會速記録)

議案 附諮問案・建議案・決議案

- 府第一號議案 大正九年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合……………可決
- 府第二號議案 大正九年度東京府歳入歳出豫算書……………可決
- 府第三號議案 大正九年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第四號議案 大正九年度東京府慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第五號議案 大正九年度東京府松澤病院基本金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第六號議案 大正九年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第七號議案 大正九年度東京府小學校教員加俸資金歳入歳出豫算書……………可決

- 府第八號議案 大正九年度東京府小學校教員恩給基金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第九號議案 大正九年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十號議案 大正九年度東京府府立學校基本金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十一號議案 大正九年度東京府第一中學校戰役記念獎學金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十二號議案 大正九年度東京府第一中學校武術獎勵資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十三號議案 大正九年度東京府第二中學校恩賜記念獎學資金歳入豫算書……………可決
- 府第十四號議案 大正九年度東京府第四中學校伏見宮博義王殿下獎學資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十五號議案 大正九年度東京府織染學校校舍落成記念獎學

- 資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十六號議案 大正九年度東京府府立高等女學校及工業學校創立資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十七號議案 大正九年度東京府御大典記念育英資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十八號議案 大正九年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第十九號議案 大正九年度東京府功勞者表彰獎勵資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第二十號議案 大正九年度東京府軍人遺家族救護基金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第二十一號議案 大正九年度東京府商工獎勵館歳入歳出豫算書……………可決
- 府第二十二號議案 大正九年度東京府第四中學校體育獎勵金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第二十三號議案 自大正九年度東京府都市計畫事業費繼續年期至大正十六年度……………可決

- 及支出方法……………可決
- 府第二十四號議案 自大正九年度東京府河川改良工事附帶工事費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十五號議案 自大正九年度東京府勸業費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十六號議案 自大正九年度東京府衛生及病院費繼續年期及支出方法……………可決
- 府第二十七號議案 自大正七年度東京府荒川改良工事附帶工事費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決
- 府第二十八號議案 自大正八年度東京府教育費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決
- 府第二十九號議案 自大正八年度東京府教育費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決
- 府第三十號議案 自大正七年度東京府教育費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決

府第三十一號議案

自大正七年度東京府教育費繼續年期及支出方法
至大正十年度
中更正ノ件

可決

府第三十二號議案

自大正五年度東京府衛生及病院費繼續年期及支
至大正九年度
出方法中更正ノ件

可決

府第三十三號議案

不動產處分ノ件

可決

府第三十四號議案

積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法改正ノ
件

可決

府第三十五號議案

府立學校基本金處分ノ件

可決

府第三十六號議案

府ノ經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ノ退隱料
退職給與金遺族扶助料支給規則中改正ノ件

可決

府第三十七號議案

府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其支給
方法中改正ノ件

可決

府第三十八號議案

府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件

可決

府第三十九號議案

府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ニ關
スル議決更正ノ件

可決

府第四十號議案

不動産寄付受領ノ件

可決

府第四十一號議案

大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收
入割合中改正ノ件

可決

府第四十二號議案

大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書

可決

府第四十三號議案

大正八年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出
追加豫算書

可決

府第四十四號議案

大正八年度東京府巢鴨病院基本金歳入歳出追
加豫算書

可決

府第四十五號議案

大正八年度東京府商工獎勵館歳入歳出追加豫
算書

可決

府第四十六號議案

特別會計設置ノ件

可決

府第四十七號議案

大正八年度東京府園藝學校獎學資金歳入歳出
豫算書

可決

府第四十八號議案

大正九年度東京府園藝學校獎學資金歳入歳出
豫算書

可決

- 府第四十九號議案 豫算外府ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件……………可決
- 府第五十號議案 大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中改正ノ件……………可決
- 府第五十一號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決
- 府第五十二號議案 府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其支給方法中改正ノ件……………可決
- 府第五十三號議案 大正九年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中追加ノ件……………可決
- 府第五十四號議案 大正九年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可決
- 府第五十五號議案 特別會計設置ノ件……………可決
- 府第五十六號議案 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………可決
- 府第五十七號議案 大正八年度東京府住宅建設費貸付資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第五十八號議案 大正九年度東京府住宅建設費貸付資金歳入歳出豫算書……………可決

府諮問第一號

- 府縣道ノ路線認定ニ關スル件……………答申議決
- 大正七年度東京府歳入歳出決算書……………承認
- 多摩川改修費ヲ國庫支辨ニ移スノ建議案……………可決
- 都市計畫委員數ニ關スル建議案……………可決
- 市内洋館建築物ノ便所設備改良ニ關スル建議案……………可決
- 府參事會委任事件ニ關スル決議案……………可決
- 府立中學校授業料ニ關スル決議案……………可決
- 放射線道路編入ニ關スル決議案……………可決
- 放射線道路編入ニ關スル決議案……………可決
- 府會議事堂設置ニ關スル決議案……………可決
- 栗本前警視廳衛生部長慰勞ニ關スル決議案……………可決
- 府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル決議中改正決議案……………可決

議決摘要

府第一號議案 大正九年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合

入ノ割合……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正九年度府費ニ關スル市部郡部分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

教育補助費 郡市 七分九厘

都市計畫費 郡市 七分五厘

市部郡部收入ノ割合

國庫交付金 郡市 三分六厘

國庫負擔金 郡市 七分五厘

分擔割合參考表

科	目	大正九年度 郡市割合	割 合 標 準
教育補助費	郡市	七分九厘	東京府教育會補助ハ會員數、實業教育補助ハ實業學校經費豫算、市町村立小學校教育補助ハ前三年平均學齡兒童數、私立中學校及高等女學校補助ハ尋常小學校卒業者數ヲ準トシ、市部ハ其二倍
	郡市	七分九厘	

都市計畫費	郡市	五分	五分ナ人口割五分ナ前三箇年度平均直接國稅割
	郡市	五分	

收入割合參考表

科	目	大正九年度 郡市割合	割 合 標 準
國庫交付金	郡市	三分六厘	歲出當該科目分擔ノ割合
	郡市	三分六厘	
國庫負擔金	郡市	七分五厘	歲出當該科目分擔ノ割合
	郡市	七分五厘	

府第二號議案 大正九年度東京府歲入歲出豫算書……………可決

歲入

經常部

第一款 財產收入 金四拾九萬八千五百七拾七錢

第一項 不動產收入 金千貳百八拾壹圓八錢

第二項 動產收入 金壹萬貳千八百圓

第三項 特別經濟繰入 金四拾八萬參千九百七拾六圓六拾九錢

- 第二款 國庫下渡金 金七拾貳萬九千四百七拾貳圓五拾七錢
 - 第一項 警察費下渡金 金七拾貳萬九千四百七拾貳圓五拾七錢
 - 第三款 雜收 金五拾八萬九千八百四拾五圓八拾壹錢
 - 第四款 市郡分賦額 金六百拾六萬四千百貳拾五圓五拾四錢
 - 內 市部收入 金四百拾貳萬貳千六百七拾圓五拾錢
 - 郡部收入 金貳百四萬千四百五拾五圓四錢
 - 第一項 市郡分賦額 金六百拾六萬四千百貳拾五圓五拾四錢
- 經常部合計金七百九拾八萬千五百壹圓六拾九錢

臨時部

- 第一款 國庫補助金 金九拾萬五千八百六拾四圓參拾參錢
- 第一項 警察費補助金 金壹萬參千貳百參拾五圓貳拾八錢
- 第二項 土木費補助金 金六拾六萬九千七百六拾參圓
- 第三項 河川改良工事附帶工事費補助金 金八萬四千百六拾圓
- 第四項 砂防工事費補助金 金貳萬千六百八拾圓
- 第五項 傳染病豫防費補助金 金千五百六拾四圓四拾九錢

- 第六項 癩療養費補助金 金八千八百參拾圓八拾壹錢
- 第七項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金百參拾參圓參拾參錢
- 第八項 行旅病人死亡人費補助金 金五萬圓
- 第九項 精神病院費補助金 金貳萬圓

(註) 第八項第九項の補助金は、多年府會から内務大臣に陳情建議した教育費國庫支辨の希望の幾分が、本年から初めて實現したものである。

- 第十項 蠶業取締費補助金 金六千貳百六拾五圓
- 第十項 原蠶種製造所費補助金 金貳千八百八拾七圓
- 第三項 副業獎勵費補助金 金千參百七拾七圓
- 第三項 種畜場費補助金 金壹萬六千參百五圓
- 第七項 樹苗養成費補助金 金千參拾五圓貳拾七錢
- 第五項 副業助成費補助金 金千五百圓
- 第六項 造林補助費補助金 金千百圓
- 第七項 感化院費補助金 金參千貳百四拾四圓八拾貳錢
- 第六項 感化院補助費補助金 金參千四百八拾參圓參拾參錢

第二款 國庫負擔金 金貳拾六萬四千圓

第一項 道路橋梁費國庫負擔金 金貳拾六萬四千圓

江北橋外三橋架設費國庫負擔金

第三款 國庫交付金 金九萬四百參拾九圓

第一項 國勢調査費交付金 金九萬四百參拾九圓

第四款 財産賣拂代 金千五百參拾圓

第一項 不動産賣拂代 金千五百參拾圓

(附記) 府第二十六號議案を以て、吉原病院改築費提案に付、舊建物賣却代千五百圓を本項に計上の處調査委員會に於て該病院改築を否とし、この賣却代を否決したが、本會に於て調査委員の意見は否決せられた。

第五款 分擔金 金壹萬貳千貳圓拾錢

第一項 砂防費分擔金 金壹萬貳千貳圓拾錢

多摩川砂防費神奈川縣分擔金

第六款 納付金 金參萬參千九百四拾八圓五拾參錢

第一項 河川改良費納付金 金參萬參千九百四拾八圓五拾參錢

荒川改良工事東京市納付金

第七款 寄付金 金拾萬圓

第一項 衛生及病院費寄付金 金五萬圓

(附記) 本項は、吉原病院改築費寄付金であるが、調査委員は改築を否とし、且假令改築を是認するも當業者からの寄付金は受けない意見であつたが、本會に於て委員の意見は否決された。

第二項 教育費寄付金 金五萬圓

(附記) 本項は、八王子商業學校建設に對する寄付金であるが、調査委員は一年間調査研究の意味に於て學校建設を猶豫し、從て本項寄付金をも否決するの意見であつたが、本會に於て委員の意見が否決された。

第八款 府債 金九萬圓

第一項 府債 金九萬圓

臨時部合計金百四拾九萬七千七百八拾參圓九拾六錢
歳入總計金九百四拾七萬九千貳百八拾五圓六拾五錢

内 市部收入 金六百四拾六萬八百七拾圓九拾七錢

郡部 收入 金參百壹萬八千四百拾四圓六拾八錢

歲出

經常部

第一款 警察 費 金百貳拾萬九千九百拾五圓九拾錢

第一項 俸給及諸給 金七拾七萬六千貳百七拾四圓四拾錢

警部補三十九人月俸五拾壹圓此金貳萬參千八百六拾八圓、巡查部長五十一人月俸四拾八圓此金貳萬九千參百七拾六圓、巡查二百三十二人月俸四拾參圓三百五十人月俸貳拾四圓此金貳拾貳萬五百拾貳圓、精勤加俸五千貳百八拾圓、警察醫員十人年俸貳千七百貳拾圓此金貳萬七千貳百圓、六十四人月俸百貳拾圓此金九萬貳千百六拾圓、技師一人年俸貳千五百五拾圓、二人年俸貳千四拾圓、一人年俸千七百圓此金八千參百參拾圓、技手一人月俸百貳圓、七十八人月俸九拾四圓、百四十五人月俸四拾圓此金拾五萬八千八百八圓、書記六人月俸六拾圓、一人月俸四拾參圓、六十九人月俸參拾八圓此金參萬六千參百圓、警部警部補巡查宿料四萬五千貳拾四圓、其ノ他手當旅費、惠與、諸傭給給與

第二項 廳 費 金貳拾八萬參千六百四拾壹圓五拾錢

第三項 警察機密費 金拾五萬圓

(原案説明) 前年度ニ比シ參拾八萬九千五百參拾五圓參拾四錢ヲ増ス其ノ主ナル理由ハ警部補巡查以下ノ増俸増給ヲ積算セルト宿料單價ヲ増加シ警部十三名ヲ市部經濟ヨリ組替タルト檢査技手七名電信技手八名書記九名電話交換手十二名ノ増員巡查練習生五十名ノ増加物價騰貴ニ伴フ旅費廳費等ノ増加精勤加俸機密費其他ヲ増加セル等ニ由ル

第二款 警察廳舍修繕費 金千五百拾八圓

第一項 修繕費 金千五百拾八圓

第三款 土木費 金四拾六萬九千四百拾九圓貳拾壹錢

第一項 道路橋梁費 金拾八萬七千貳百五拾貳圓六拾參錢

第二項 治水堤防費 金貳拾四萬參百四圓九拾四錢

第三項 道路臺帳費 金四萬五千五百九拾壹圓六拾四錢

(原案説明) 前年度ニ比シ貳拾五萬六千五百餘圓ヲ増ス其主ナル理由ハ諸傭人ニ對スル増給ト郡部經濟ヨリ編入セル道路アルト諸材料ノ騰貴セルト道路法ノ施行ニ伴ヒ道路臺帳調製ニ關スル諸費ヲ積算セルトニ由ル

第四款 府會議諸費 金七萬四拾四圓五拾四錢

第一項 府會議費 金五萬參千六百七拾壹圓參拾四錢

第二項 府參事會諸費 金壹萬六千參百七拾參圓貳拾錢

第五款 衛生及病院費 金參拾八萬八千九百七拾圓七拾九錢

第一項 衛生諸費 金五萬五千八百四拾六圓參拾四錢

第二項 松澤病院費 金貳拾參萬四千九百九圓九錢

(註) 松澤病院は巢鴨病院の改稱である。

第三項 娼妓病院費 金七萬八千八百六拾貳圓九拾六錢

第四項 屠畜検査費 金壹萬九千參百五拾貳圓四拾錢

第六款 教育費 金百五拾參萬四千五百五拾四圓參拾六錢

第一項 青山師範學校費 金拾四萬六千九百九拾五圓四拾九錢

第二項 豐島師範學校費 金拾四萬九千八百拾五圓七錢

第三項 女子師範學校費 金拾貳萬參千九百八拾圓

第四項 第一中學校費 金六萬八千六百拾八圓八拾六錢

第五項 第二中學校費 金四萬九百六拾參圓參拾九錢

第六項 第三中學校費 金六萬四千九百八拾五圓六拾四錢

第七項 第四中學校費 金六萬貳千百拾九圓九拾九錢

第八項 第五中學校費 金參萬七千百參拾圓四拾參錢

第九項 第一高等女學校費 金五萬六千六百拾參圓七拾八錢

第十項 第二高等女學校費 金壹萬貳千九百八拾參圓七拾四錢

第十項 第三高等女學校費 金五萬四千七百六拾四圓八錢

第十項 第四高等女學校費 金貳萬九千六百四拾四圓參拾九錢

第十項 第五高等女學校費 金貳萬參千八百四拾八圓七拾貳錢

第十項 織染學校費 金四萬拾壹圓參拾六錢

第十項 工藝學校費 金八萬千九百拾參圓五拾八錢

第十項 職工學校費 金七萬百五拾壹圓貳拾八錢

第十項 園藝學校費 金四萬六千四百四拾圓六拾貳錢

第十項 農林學校費 金四萬四千百拾貳圓八拾六錢

第十項 商業學校費 金參萬八千百參拾參圓六拾九錢

第十項 工業學校費 金貳萬七千八百六圓參拾錢

第十項 八王子商業學校費 金貳萬八百八圓六拾貳錢

第十項 學事諸費 金貳拾八萬六千六百八拾八圓九拾八錢

- 第三項 小學校教員檢定費 金千貳百貳拾壹圓六拾九錢
- 第四項 講習費 金四千參百壹圓八拾錢
- 第五項 給與 金千六百圓

(原案説明) 前年度ニ比シ金四拾九萬貳千六百六拾圓四錢ヲ増ス其ノ主ナル理由ハ學校職員以下ニ對スル特別手當ヲ廢シテ増俸増給スルトハ王子商業學校及附屬商業夜學校ノ新設第五高等女學校及工業學校ノ開校恩給金補充費加俸資金編入金ヲ増加シタルト物價騰貴ノ爲諸般ノ見積ヲ増シタル等ニ由ル

- 第七款 救育費 金五拾七萬千百拾七圓

- 第一項 救助費 金五拾七萬千百拾七圓

行旅病人及死亡人費拾八萬貳千七百七拾九圓六拾錢精神病者費貳拾六萬八千參百參拾七圓四拾錢代用精神病院費拾貳萬圓

- 第八款 諸達書及揭示諸費 金七千八百壹圓六拾四錢

- 第一項 令達諸費 金七千八百壹圓六拾四錢

- 第九款 勸業費 金貳拾七萬貳千貳百七圓四拾九錢

- 第一項 勸業會費 金五千四百參拾圓六拾七錢

- 第二項 勸業諸費 金貳拾參萬六百八拾參圓九拾五錢

- 第三項 森林改良費 金七千五拾七圓五拾七錢

- 第四項 工業調查費 金五千六百五拾圓

- 第五項 獸疫豫防費 金貳萬參千參百八拾五圓參拾錢

- 第十款 府費取扱費 金五萬百九拾八圓四拾參錢

- 第一項 徵收費 金四萬六千九拾八圓四拾參錢

- 第二項 金庫諸費 金四千百圓

- 第十一款 府廳舍修繕費 金五千九百九拾七圓五拾錢

- 第一項 修繕費 金五千九百九拾七圓五拾錢

- 第十二款 衆議院議員選舉費 金千百五拾五圓

- 第一項 選舉費 金千百五拾五圓

- 第十三款 府會議員選舉費 金參百八拾七圓貳拾七錢

- 第一項 選舉費 金參百八拾七圓貳拾七錢

- 第十四款 府吏員費 金四拾壹萬九千貳百參圓拾九錢

- 第一項 吏員費 金四拾壹萬九千貳百參圓拾九錢

(原案説明) 前年度ニ比シ拾四萬八千四百六拾壹圓餘ヲ増ス其主ナル理由ハ特別手當ヲ廢

シテ増俸増給セルト物價騰貴ノ爲備品消耗品等ノ見積ヲ増ストニ由ル

第五款 財産 費 金九拾貳圓貳拾四錢

第一項 管理 費 金九拾貳圓貳拾四錢

第六款 土地收用 費 金貳百九拾六圓貳拾貳錢

第一項 審查 諸 費 金貳百九拾六圓貳拾貳錢

第七款 府社 費 金六拾貳圓

第一項 府社 費 金六拾貳圓

第六款 史蹟天然記念物保存 費 金參千五百圓

第一項 保存 費 金參千五百圓

第五款 府統計 費 金拾萬六千六百圓拾六錢

第一項 府統計 費 金四千七百四拾圓拾貳錢

第二項 國勢調査準備 費 金壹萬四千四百貳拾壹圓四錢

第三項 國勢調査市町村交付金 金九萬四百參拾九圓

第三款 感化院 費 金壹萬九千九百九拾壹圓四錢

第一項 小笠原修齊學園 費 金壹萬九千九百九拾壹圓四錢

第三款 地方獎勵 費 金五千參拾八圓

第一項 獎勵 費 金五千參拾八圓

第三款 市町村吏員懲戒審查會 費 金參拾八圓

第一項 審查 諸 費 金參拾八圓

第三款 補償鑑定 費 金參拾貳圓

第一項 鑑定 人 費 金參拾貳圓

第四款 救濟事業 費 金貳萬千八百四拾圓

第一項 救濟事業 費 金貳萬千八百四拾圓

第五款 都市計畫 費 金五萬九千參百參拾壹圓六拾四錢

第一項 事務 費 金四萬貳百拾九圓貳拾貳錢

第二項 調査 費 金壹萬九千百拾貳圓四拾貳錢

(原案説明) 新ニ本費ヲ計上セルハ都市計畫事業ニ伴ヒ事務費ヲ要スルト運河ノ調査ヲ爲

サムトスルニ由ル

第六款 豫備 費 金壹萬圓

第一項 豫備 費 金壹萬圓

經常部合計金五百貳拾貳萬九千四拾壹圓六拾貳錢

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金壹萬九千五百九拾圓

第一款 建築費 金壹萬九千五百九拾圓

第二款 土木費 金貳萬千四百八拾圓七拾六錢

第一款 道路橋梁費 金貳萬千四百八拾圓七拾六錢

第三款 治水費分擔金 金參拾五萬貳千五百圓

第一款 河川改良費分擔金 金參拾五萬貳千五百圓

荒川貳拾八萬參千圓、利根川五萬圓、荒川上流壹萬九千五百圓

第四款 河川改良工事附帶工事費 金貳萬八千參拾五圓六拾錢

第一款 道路橋梁費 金貳萬八千參拾五圓六拾錢

第五款 河川改良工事附帶工事補助費 金七萬八千圓

第一款 河川改良工事附帶工事補助費 金七萬八千圓

第六款 市町村傳染病豫防補助費 金八百圓

第一款 市町村傳染病豫防補助費 金八百圓

第七款 教育費 金貳拾四萬七千九百七拾六圓

第一項 師範學校費 金五萬五千七百八拾九圓

第二項 中學校費 金拾參萬貳千九百四拾貳圓

第三項 織染學校費 金四千貳拾五圓

第四項 工藝學校費 金七百四拾五圓

第五項 職工學校費 金貳千百參拾五圓

第六項 園藝學校費 金千八百貳拾五圓

第七項 商業學校費 金五萬五百拾五圓

第八款 教育補助費 金拾參萬五千圓

第一項 教育補助費 金拾參萬五千圓

東京府教育會補助參千圓、實業教育補助壹萬參千圓、市町村立小學校教育費補助壹萬九千圓、私立中學校及高等女學校補助拾萬圓

(原案説明) 前年度ニ比シ金拾萬四千五百圓ヲ増ス其理由ハ東京府教育會補助費及實業教育補助費ヲ増スト新ニ私立中學校並高等女學校ニ對スル補助費ヲ計上セルニ由ル

(註) 私立中學校及高等女學校へ拾萬圓補助することゝなつたが、これで多年の懸案たる私立學校費の補助が漸く實現を見るに至つたのである。

第九款 町村警備補助費 金貳百六圓

第一項 町村警備補助費 金貳百六圓

南千住町及千住町補助

第十款 勸業費 金貳萬六千七拾貳圓五拾錢

第一項 建築費 金壹萬千五百七拾貳圓五拾錢

原蠶種製造所及蠶業取締所建築費

第二項 助成費 金壹萬四千五百圓

同業組合及副業助成費

第十款 勸業補助費 金貳萬六千百參拾圓

第一項 勸業補助費 金貳萬六千百參拾圓

物産共進會補助貳千圓、小笠原島航海費補助壹萬六千圓、産業組合中央會東京市支部會補助九百圓、造林費補助參千貳百參拾圓、伊豆七島航海費補助參千圓、蔬菜促成栽培補助千圓

第三款 府廳舍建築費 金四千百五拾六圓

第一項 建築費 金四千百五拾六圓

第三款 地方改良事業補助費 金貳千圓

第一項 地方改良事業補助費 金貳千圓

東京地方改良協會補助

第十款 感化院補助費 金貳萬九百圓

第一項 感化院補助費 金貳萬九百圓

代用感化院補助

第十款 救濟事業補助費 金貳萬五千八百五拾圓

第一項 救濟事業補助費 金貳萬五千八百五拾圓

第十款 海外視察員派遣費 金四千圓

第一項 海外視察員派遣費 金四千圓

第十款 積立金 金五千圓

第一項 育英資金積立金 金五千圓

第十款 神職會補助費 金四百五拾圓

第一項 神職會補助費 金四百五拾圓

第十款 府債費 金六萬四千九百七拾六圓

第一項 利 子

金六萬四千九百七拾六圓

第三款 運 用 金 戻 入

金參萬貳千參百六拾圓四拾錢

第一項 運 用 金 戻 入

金參萬貳千參百六拾圓四拾錢

第二款 土 木 費 本 年 度 支 出 額

金百四萬百貳拾六圓

第一項 道 路 橋 梁 費 本 年 度 支 出 額

金百四萬百貳拾六圓

第三款 河川改良工事附帶工事費

金七拾壹萬四千八百貳拾壹圓

第一項 道 路 橋 梁 費 本 年 度 支 出 額

金七拾壹萬四千八百貳拾壹圓

府第二十四號及二十七號議案ニ伴フニ由ル

第三款 砂 防 工 事 費 本 年 度 支 出 額

金五萬四千八百七拾七圓

第一項 砂 防 工 事 費 本 年 度 支 出 額

金五萬四千八百七拾七圓

第四款 國 庫 納 付 金 本 年 度 支 出 額

金貳拾七萬九千四百圓

第一項 治 水 費 納 付 金 本 年 度 支 出 額

金貳拾七萬九千四百圓

多摩川改修費納付金

第三款 都 市 計 畫 事 業 費 本 年 度 支 出 額

金參拾九萬參千九百參拾七圓

第一項 都 市 計 畫 事 業 費 本 年 度 支 出 額

金參拾九萬參千九百參拾七圓

府第二十三號議案ノ年度割支出額

第三十六款 衛 生 及 病 院 費 本 年 度 支 出 額

金貳拾九萬九千九百拾貳圓五拾貳錢

第一項 精 神 病 院 移 轉 建 築 費 本 年 度 支 出 額

金拾八萬千七百七拾四圓五拾貳錢

第二項 娼 妓 病 院 建 築 費 本 年 度 支 出 額

金拾壹萬八千百參拾八圓

第三十七款 教 育 費 本 年 度 支 出 額

金參拾壹萬五千九百九拾六圓貳拾五錢

第一項 中 學 校 費 本 年 度 支 出 額

金七萬九千貳百拾參圓四錢

第二項 商 業 學 校 費 本 年 度 支 出 額

金八萬八千貳拾參圓四錢

第三項 高 等 女 學 校 費 本 年 度 支 出 額

金七萬四千參百八拾七圓五拾錢

第四項 工 業 學 校 費 本 年 度 支 出 額

金七萬參千五百七拾貳圓六拾七錢

第三十八款 勸 業 費 本 年 度 支 出 額

金五萬七千八百八拾壹圓

第一項 種 畜 場 建 築 費 本 年 度 支 出 額

金五萬七千八百八拾壹圓

臨時部合計金四百貳拾五萬貳百四拾四圓參錢

歲出總計金九百四拾七萬九千貳百八拾五圓六拾五錢

市 部 負 擔 金六百四拾六萬八百七拾圓九拾七錢

郡 部 負 擔 金參百壹萬八千四百拾四圓六拾八錢

府第三號議案 大正九年度東京府罹災救助基金歲入歲出
豫算書……………可決

府第四號議案 大正九年度東京府慈惠救濟資金歲入歲出
豫算書……………可決

府第五號議案 大正九年度東京府松澤病院基本金歲入歲
出豫算書……………可決

(註) 松澤病院は、集鴨病院の改稱である。

府第六號議案 大正九年度東京府教育資金歲入歲出豫算
書……………可決

府第七號議案 大正九年度東京府小學校教員加俸資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第八號議案 大正九年度東京府小學校教員恩給基金歲

入歲出豫算書……………可決

府第九號議案 大正九年度東京府小學校教員恩給金歲入
歲出豫算書……………可決

府第十號議案 大正九年度東京府府立學校基本金歲入歲
出豫算書……………可決

府第十一號議案 大正九年度東京府第一中學校戰役記念獎
學金歲入歲出豫算書……………可決

府第十二號議案 大正九年度東京府第一中學校武術獎勵資
金歲入歲出豫算書……………可決

府第十三號議案 大正九年度東京府第二中學校恩賜記念獎
學資金歲入豫算書……………可決

府第十四號議案 大正九年度東京府第四中學校伏見宮博義

王殿下獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十五號議案 大正九年度東京府織染學校校舍落成記念
獎學資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十六號議案 大正九年度東京府府立高等女學校及工業
學校創立資金歲入歲出豫算書……………可決

府第十七號議案 大正九年度東京府御大典記念育英資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第十八號議案 大正九年度東京府御大禮恩賜賑恤資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第十九號議案 大正九年度東京府功勞者表彰獎勵資金歲
入歲出豫算書……………可決

府第二十號議案 大正九年度東京府軍人遺家族救護基金歲

入歲出豫算書……………可決

府第二十一號議案 大正九年度東京府商工獎勵館歲入歲出豫

算書……………可決

歲入

第一款 商工獎勵館收入 金七拾五萬千百參拾四圓拾五錢

第一項 前年度繰越金 金參拾七萬圓

第二項 財產收入 金八千七百六拾圓

第三項 普通經濟編入金 金七萬千九百九拾五圓拾五錢

第四項 寄附金 金參拾萬圓

第五項 府吏員職員納付金 金參百七拾九圓

歲入合計金七拾五萬千百參拾四圓拾五錢

歲出

第一款 商工獎勵館費 金六拾八萬參千六百六拾參圓五拾八錢

第一項 俸給及諸給 金五萬四千四百八拾參圓拾錢

第二項 館 費 金壹萬七千八百九拾壹圓五錢
 第三項 營繕 費 金六拾壹萬千貳百八拾九圓四拾參錢
 歲出合計金六拾八萬參千六百六拾參圓五拾八錢

府第二十二號議案 大正九年度東京府第四中學校體育獎勵金

歲入歲出豫算書……………可決

歲入

第一款 第四中學校體育獎勵金 金四拾九圓

第一項 財產 收入 金四拾九圓

歲入合計金四拾九圓

歲出

第一款 第四中學校體育獎勵金 金四拾九圓

第一項 體育獎勵金 金四拾九圓

歲出合計金四拾九圓

府第二十三號議案 自大正九年度至大正十六年度東京府都市計畫事業費繼續

年期及支出方法……………可決

一金千八百四萬七千五百九拾五圓

都市計畫事業費

內譯

金參拾九萬參千九百參拾七圓	大正九年度支出額
金貳百五拾四萬九千八百八拾六圓	大正十年度支出額
金貳百五拾壹萬九千五百九圓	大正十一年度支出額
金貳百五拾貳萬貳千九圓	大正十二年度支出額
金貳百五拾貳萬八千九百七拾壹圓	大正十三年度支出額
金貳百五拾壹萬五千八百七拾七圓	大正十四年度支出額
金貳百五拾貳萬千四百貳拾圓	大正十五年度支出額
金貳百四拾九萬八千六百八拾六圓	大正十六年度支出額

東京市近郊ノ發展ニ鑑ミ都市計畫事業トシテ環狀道路則東海道外六十三路線及放射道路則中原街道外二十四路線ノ改修ヲ施行セムトスル處工事竝經費ノ都合上之ヲ繼續費トシテ其ノ完成ヲ期セントス

(附帶決議)

一環狀線ハ可成屈折ヲ避ケ水陸ノ連絡ヲ考慮シ都市計畫ノ本旨ニ副フヘキコト
 二八年計畫ヲ五年計畫ニ短縮シ且ツ二箇年目ニ於テ道路敷地全部ノ買収ヲ遂行
 セラレタキコト但右ニ要スル費用ハ起債ヲ以テ之ニ充ツルコト
 三道路幅員ハ環狀線十間以上放射線八間以上トシ可成東京市街道路ノ幅員ニ準
 スルコト(調査委員意見
 委員長矢野鉉吉)

府第二十四號議案

自大正九年度東京府河川改良工事附帶工事

費繼續年期及支出方法……………可決

金五拾壹萬八千六百五拾圓

橋梁新架費

内譯

金貳拾六萬四千圓

大正九年度支出額

内

金貳拾六萬四千圓

橋梁新架費

金貳拾五萬四千六百五拾圓

大正十年度支出額

内

金貳拾五萬四千六百五拾圓

橋梁新架費

荒川改良工事ニ伴ヒ附帶事業トシテ千葉分道豊島道ニ各一箇所新川河岸道ニ二
 箇所ノ橋梁架設ヲ要スル處工事竝經費ノ都合上繼續費トシテ其完成ヲ期セント
 ス

府第二十五號議案

自大正九年度東京府勸業費繼續年期及支

出方法……………可決

一金拾壹萬參千百拾參圓

勸業費中建築費

内譯

金五萬七千百八拾壹圓

大正九年度支出額

金貳萬八千四百拾六圓

大正十年度支出額

金貳萬七千五百拾六圓

大正十一年度支出額

右ハ種畜場ノ新設ヲ要スル處工事ノ都合ニ依リ三箇年度ノ繼續事業トシテ其ノ
 完成ヲ期セムトス

府第二十六號議案

自大正九年度 東京府衛生及病院費繼續年期

及支出方法……………可決

一金參拾壹萬六千七百五拾八圓

衛生及病院費中娼妓病院建築費

内 譯

金拾壹萬八千百參拾八圓

大正九年度支出額

金拾九萬八千六百貳拾圓

大正十年度支出額

右ハ吉原病院ノ改築ヲ要スル處工事ノ都合ニ因リ二箇年度ノ繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セムトス

(附記) 調査委員は、改築を當分延期する意味に於て、本案を否決する意見であつたが、採決の結果原案に可決されたものである。

府第二十七號議案

自大正七年度 東京府荒川改良工事附帶工事

費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決

既定額金四拾五萬七千貳百拾壹圓

一金百六萬四百參拾六圓

道路 橋 梁 費

内 譯

既定額金拾貳萬四千圓

金四拾五萬八百貳拾壹圓

橋 梁 新 架 費

内

既定額金拾貳萬四千圓

金四拾五萬八百貳拾壹圓

大正九年度支出額

既定額金〇

金貳拾七萬六千四百四圓

橋 梁 新 架 費

内

既定額金〇

金貳拾七萬六千四百四圓

大正十年度支出額

陸羽街道筋荒川ニ架設スヘキ千住新橋ハ木橋ノ設計ナリシ處交通ノ狀況等ヲ參酌シ之ヲ鐵橋ニ變更ノ要アルヲ以テ年度割ヲ更正スルモノトス

府第二十八號議案

自大正八年度 東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金貳拾六萬四千七百八拾參圓四拾錢

一金貳拾七萬四千參拾參圓四拾錢

教育費中建築費

内 譯

既定額金六萬五千參拾七圓五拾錢

金七萬四千參百八拾七圓五拾錢

大正九年度支出額

右ハ物價騰貴ニ伴ヒ府立高等女學校建築費ノ増額ヲ要スル爲年度割ヲ更正スルモノトス

府第二十九號議案

自大正八年度 至大正十年度 東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金參拾八萬四千貳百拾七圓六拾九錢

一金參拾九萬貳千八百貳拾圓參拾六錢

教育費中建築費

内 譯

既定額金六萬四千九百七拾圓

金七萬參千五百七拾貳圓六拾七錢

大正九年度支出額

右ハ物價騰貴ニ伴ヒ府立工業學校建築費ノ増額ヲ要スル爲年度割ヲ更正スルモノトス

府第三十號議案

自大正七年度 至大正十年度 東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件……………可決

既定額金參拾壹萬八千五百九拾八圓九拾錢

一金參拾五萬九千八百九拾壹圓九拾四錢

教育費中建築費

内 譯

既定額金參萬七千九百貳拾圓

金七萬九千貳百拾參圓四錢

大正九年度支出額

右ハ物價騰貴ニ伴ヒ府立第五中學校建築費ノ増額ヲ要スル爲年度割ヲ更正スルモノトス

府第三十一號議案

自大正七年度 至大正十年度 東京府教育費繼續年期及支出

方法中更正ノ件……………可決

既定額金貳拾萬貳千百參拾五圓貳拾五錢
一金貳拾四萬九千七百拾八圓貳拾九錢

教育費中建築費

内 譯

既定額金四萬四百四拾圓
金八萬八千貳拾參圓四錢

大正九年度支出額

右ハ物價騰貴ニ伴ヒ府立商業學校建築費ノ増額ヲ要スル爲年度割ヲ更正スルモノトス

府第三十二號議案

自大正五年度 至大正九年度 東京府衛生及病院費繼續年期

及支出方法中更正ノ件……………可 決

既定額金九拾萬五千六百參拾六圓九拾九錢

一金百貳萬五千五百七拾參圓九拾八錢

衛生及病院移轉建築費

内 譯

既定額金六萬千八百參拾七圓五拾參錢

金拾八萬千七百七拾四圓五拾貳錢

大正九年度支出額

右ハ水路ノ新設ヲ要スルモノアルト物價騰貴ニ伴ヒ精神病院移轉建築費ノ増額ヲ要スル爲年度割ヲ更正スルモノトス

府第三十三號議案

不動産處分ノ件……………可 決

淺草區千束町二丁目所在

吉原病院建物

一木造二階建瓦葺

建坪八十坪五合

一棟

一木造平家建瓦葺

建坪二十九坪二合五勺

一棟

此見積價格金千五百圓 附屬物件共

右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ改築見込ニ付不用ニ屬スルヲ以テ賣却セムトス

(附記) 府第二十六號議案吉原病院改築費繼續支出案は、委員に於て當分延期の意見を以て否決の意見であり、從て本案も之に伴つて否決の運命にあつたが、委員の意見が成立しなかつた。

府第三十四號議案

積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法改

正ノ件……………可 決

府立各學校ニ屬スル積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法左ノ通改正シ大正七年度所屬ヨリ之ヲ施行スルモノトス
府立學校ニ屬スル製產品賣拂代、不用品賣拂代、作業益金竝之ヨリ生スル利子ハ一般經濟ニ編入セス府立學校基本金トシテ特別會計ヲ設ケテ蓄積スルモノトス

(參照)

積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法改正ノ件(明治三十九年通常府會決議)

府立各學校ニ屬スル積立金ノ設置及特別會計ニ關スル方法左ノ通改ムルモノトス

府立各學校ニ屬スル製產品賣拂代、不用品賣拂代、作業益金及毎年度經常部ニ於ケル歳出ノ決算剩餘金竝之ヨリ生スル利子ハ一般經濟ニ編入セス當該學校ノ基本金トシテ特別會計ヲ設ケテ蓄積スルモノトス

府第三十五號議案 府立學校基本金處分ノ件……………可 決

大正九年度豊島師範學校女子師範學校第一中學校第二中學校第三中學校及第四中學校建築費ニ充ツル爲府立學校基本金拾五萬四千貳百四拾貳圓ヲ東京府普通經濟へ繰入ルルモノトス

府第三十六號議案 府ノ經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ノ退

隱料退職給與金遺族扶助料支給規則中改

正ノ件……………可 決

府ノ經濟ヨリ給料ヲ受クル吏員職員ノ退隱料退職給與金遺族扶助料支給規則中左ノ通改正シ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行スルモノトス

第六條ノ二 休職トナリタル者ニ付テハ休職前最後ニ於ケル俸給ヲ以テ本則ニ規定シタル退職當時又ハ退職現時ノ俸給ト看做ス

第六條ノ三 吏員又ハ職員、毎月其受クル俸給ノ百分ノ一ヲ本府ニ納付スヘシ第九條第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

退隱料年額ハ退職當時ニ於ケル俸給年額三分ノ一トシ在職十五年以上三十年ニ至ル迄一年ヲ加フル毎ニ退職當時ノ俸給年額二十二分ノ一ヲ増加ス

在職三十年以上ノ者ハ三十年ノ額トシ十五年未滿ノ者ハ十五年ノ額トス

第十一條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

二六年ノ懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十二條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クル

コトナキニ至ル迄

第十三條 吏員又ハ職員在職一年以上ニシテ第七條第一項各號ノ一及同條第二

項ニ該ルトキハ一時限退職給與金ヲ給ス但シ退職料ヲ受クヘキ者ハ此ノ限リ

ニアラス

第十四條中「半箇月分」ヲ「一箇月分」ニ改ム

第二十條第一項第二號ヲ左ノ如ク改メ同第三號中「又ハ」以下ヲ削除シ同第四號中

「滿チタルトキ」ノ下ニ「又ハ年齢二十歳ニ滿タサルモ女子婚姻シタルトキ」ヲ加フ

二六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第二十條ノ二 退隱料ヲ受ケタル者ノ寡婦ニシテ其夫退職後結婚シタル者ハ扶

助料ヲ受クルコトヲ得ス

第二十一條第一項第一號ヲ左ノ如ク改ム

一禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クル

コトナキニ至ル迄

附 則

第二十四條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本則ノ適用ニ付テハ六年ノ

懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ本則ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑

ニ處セラレタルモノト看做ス

(原案説明) 現行規定ノ退隱料ハ極メテ少額ニ止マリ現下社會生活ノ實狀ニ照應セサルノミナ
ラス現行支給額ヲ以テシテハ吏員職員ヲシテ安ムシテ其ノ職務ニ従事セシムルコト能ハサル
ニ依リ之カ支給額及遺族扶助料退職給與金ノ支給額ヲモ増加セムトシ關係條項ノ改正ヲ爲サ
ムトスルト新ニ吏員職員ヨリ毎月一定ノ納付金ヲ納付セシムヘク之カ規定ヲ設ケムトスルト
ニ由ル

府第三十七號議案 府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其

支給方法中改正ノ件……………可 決

府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其ノ支給方法中左ノ通改正シ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行スルモノトス
別表ヲ左ノ如ク改ム

年額手當	府會議長	府會副議長	部會議長	部會副議長	其他ノ議員
	千圓	八百圓	八百圓	七百圓	六百圓
月額手當	市部選出名譽職參事會員		郡部選出名譽職參事會員		
	百圓	百圓	拾圓	拾圓	拾圓
月額手當	臨時補充名譽職參事會員		議員ノ年額手當ヲ受クヘキ者議長副議長タル者ヲ除クニシテ郡部ニ住居ヲ占ムルトキハ參拾圓ヲ増額ス		
	五圓	五圓	五圓	五圓	五圓
旅費	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料	鐵道賃船賃車馬賃日當宿泊料
	四錢五錢參拾錢貳圓貳圓五拾錢	四錢五錢參拾錢貳圓貳圓五拾錢	四錢五錢參拾錢貳圓貳圓五拾錢	四錢五錢參拾錢貳圓貳圓五拾錢	四錢五錢參拾錢貳圓貳圓五拾錢

府第三十八號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正

ノ件……………可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改正シ大正九年度分ヨリ之ヲ施行スルモノトス
郡部會議決事件中

土木費但書中「荒川改良工事並利根川改良工事ニ附帶スル工事」ノ次ニ「及都市計畫」ヲ加フ

勸業補助費但書中「及養蠶組合」ヲ「養蠶組合及採種圃」ニ改ム

（原案説明）都市計畫費ハ連帶負擔採種圃ニ關スル費用ハ郡部負擔ヲ執レモ適當ト認ムルニ由ル

府第三十九號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正

ニ關スル議決更正ノ件……………可決

大正七年府第三十三號議決（府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件）中左ノ通更正スルモノトス

〔甲州街道追分ヨリ豊多摩郡中野町所澤道分岐點ニ至ル間〕ヲ〔東京市四谷區界ヨリ豊多摩郡中野町所澤道分岐點ニ至ル間〕ト更正ス

第五章 府會の行動 大正八年の府會

(原案説明) 大正九年四月一日以降豊多摩郡内藤新宿町ヲ東京市四谷區ノ區域ニ編入ノ見込ナルニ由ル

府第四十號議案 不動産寄付受領ノ件……………可 決

八王子市上野町

一 學校敷地

合計反別一町五反五畝四步(四千六百五十四坪)

此見積價格金六萬九千八百拾圓

一 瓦葺二階建 建坪百九十八坪 一 棟

此見積價格金四萬九千五百圓

一 瓦葺平家建 建坪五十二坪七合五勺 五 棟

此見積價格金七千九百拾貳圓五拾錢

右ハ八王子市ヨリ府立八王子商業學校用トシテ寄付申出ノ處支障無キヲ以テ之ヲ受領スルモノトス

府第四十一號議案 大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中改正ノ件……………可 決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通改正スルモノトス
市部郡部分擔ノ割合中左ノ三項ヲ加フ

特別經濟編入金ノ内

第五中學校敷地費編入金 郡市 六分五厘

巢鴨病院經常費決算剩餘該當編入金 郡市 一分九厘

小學校教員加俸資金編入金 郡市 六分四厘

(原案説明) 右ハ孰レモ當該年度歳出分擔ノ割合ニ據ルヲ適當ナリト認ムルニ由ル

府第四十二號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

經 常 部

第二款 國 庫 下 渡 金 金壹萬七千貳百七拾五圓五拾八錢

第一項 警 察 費 下 渡 金 金壹萬七千貳百七拾五圓五拾八錢

第四款 市郡分賦額 金六拾四萬六千六百六拾圓五錢

第一項 市郡分賦額 金六拾四萬六千六百六拾圓五錢

經常部合計金六拾六萬參千九百參拾五圓六拾參錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金七拾參圓八拾貳錢

第四項 傳染病豫防費補助金 金拾四圓八錢

第三項 感化院費補助金 金五拾九圓七拾四錢

臨時部合計金七拾參圓八拾貳錢

歲入總計金六拾六萬四千九圓四拾五錢

歲出

經常部

第一款 警察費 金貳萬八千七百九拾貳圓六拾四錢

第一項 俸給及諸給 金貳萬八千七百九拾貳圓六拾四錢

警察醫員其ノ他特別手當增加支給

第三款 土木費 金六百八圓八拾壹錢

第一項 道路橋梁費 金參百七拾六圓貳拾貳錢

諸傭人特別手當增加支給

第二項 治水堤防費 金貳百參拾貳圓五拾九錢

同上

第四款 府會議諸費 金六千參百六拾壹圓八拾七錢

第一項 府會議費 金五千貳百參拾六圓八拾七錢

府會議員手當增額及職員特別手當增加支給

第二項 府參事會諸費 金千百貳拾五圓

參事會員手當增額

第五款 衛生及病院費 金六千六百七拾五圓參拾錢

第一項 衛生諸費 金貳百圓四錢

吏員以下特別手當增加支給

第二項 巢鴨病院費 金參千五百貳拾壹圓拾錢

職員以下特別手當增加支給

第三項 娼妓病院費 金貳千百四拾四圓拾六錢

職員以下特別手當増加支給

第四項 屠畜検査費

金八百拾圓

吏員以下特別手當増加支給

第六款 教育費

金四萬六百參拾五圓貳拾壹錢

第一項 青山師範學校費

金千六百七拾貳圓七拾貳錢

職員以下特別手當増額支給

第二項 豊島師範學校費

金貳千百貳拾四圓四拾四錢

同上

第三項 女子師範學校費

金千六百五拾圓四拾八錢

同上

第四項 第一中學校費

金千百參拾圓九拾貳錢

同上

第五項 第二中學校費

金五百八拾八圓拾貳錢

同上

第六項 第三中學校費

金千參百參拾五圓九拾貳錢

同上

第七項 第四中學校費

金千參百八拾四圓九拾貳錢

同上

第八項 第五中學校費

金四百五拾八圓參拾貳錢

同上

第九項 第一高等女學校費

金千六百九拾壹圓六拾八錢

同上

第十項 第二高等女學校費

金參百九拾九圓八拾錢

同上

第十一項 第三高等女學校費

金千七百七拾參圓貳拾八錢

同上

第十二項 第四高等女學校費

金七百八拾六圓貳拾八錢

同上

第十三項 第五高等女學校費

金六拾五圓貳拾錢

同上

第七項 織染學校費 金七百五拾九圓參拾貳錢

職員以下特別手當增額支給

第五項 工藝學校費 金千參百五拾四圓拾六錢

同上

第六項 職工學校費 金千四百五拾參圓參拾貳錢

同上

第七項 園藝學校費 金七百七拾參圓五拾四錢

同上

第六項 農林學校費 金五百五拾九圓四拾錢

同上

第五項 商業學校費 金參百八拾六圓九拾貳錢

同上

第三項 工業學校費 金九拾四圓貳拾錢

同上

第三項 學事諸費 金壹萬八千四拾八圓六拾壹錢

同上

第五項 八王子商業學校費 金貳千四百四拾參圓六拾六錢

同上

第九款 勸業費 金貳千四百六拾五圓參拾七錢

第二項 勸業諸費 金千九百四拾參圓參拾七錢

職員以下特別手當增加支給

第三項 森林改良費 金百拾七圓六拾錢

同上

第四項 獸疫豫防費 金四百四圓四拾錢

同上

第十款 府費取扱費 金貳拾四圓

第一項 徵收費 金貳拾四圓

雇員特別手當增加支給

第十款 府吏員費 金九千六百七拾參圓參拾壹錢

第一項 吏員費 金九千六百七拾參圓參拾壹錢

吏員及傭人特別手當增加支給

第一款 感 化 院 費 金參百五拾八圓四拾四錢

第一項 小笠原修齊學園費 金參百五拾八圓四拾四錢

職員及傭人特別手當增加支給

第二款 救 濟 事 業 費 金百八拾圓

第一項 救 濟 事 業 費 金百八拾圓

職員及傭人特別手當增加支給

經常部合計金九萬五千七百七拾四圓九拾五錢

臨時部

第二款 土 木 費 金參拾參萬參千六百拾壹圓拾五錢

第一項 道 路 橋 梁 費 金九千參百四拾壹圓八拾四錢

水害復舊工事費

第二項 治 水 堤 防 費 金參拾貳萬四千貳百六拾九圓參拾壹錢

同 上

第三款 治 水 費 分 擔 金 金貳拾壹萬貳千圓

第一項 河川改良費分擔金 金貳拾壹萬貳千圓

荒川及利根川改良費分擔金增加額

第三款 特 別 經 濟 編 入 金貳萬貳千六百貳拾參圓參拾五錢

第一項 特 別 經 濟 編 入 金貳萬貳千六百貳拾參圓參拾五錢

臨時部合計金五拾六萬八千貳百參拾四圓五拾錢

歲出總計金六拾六萬四千九圓四拾五錢

府第四十三號議案 大正八年度東京府小學校教員恩給金歲入

歲出追加豫算書……………可 決

府第四十四號議案 大正八年度東京府巢鴨病院基本金歲入歲

出追加豫算書……………可 決

府第四十五號議案 大正八年度東京府商工獎勵館歲入歲出追

加豫算書……………可 決

歲 入

第一款 商工獎勵館收入 金六百拾壹圓七拾九錢

第一項 普通經濟編入金 金六百拾壹圓七拾九錢

歲入合計金六百拾壹圓七拾九錢

歲出

第一款 商工獎勵館費 金六百拾壹圓七拾九錢

第一項 俸給及諸給 金六百拾壹圓七拾九錢

職員及傭人特別手當增加支給

歲出合計金六百拾壹圓七拾九錢

府第四十六號議案 特別會計設置ノ件……………可決

府立園藝學校獎學資金ノ收支ハ之ヲ特別會計トシ寄付金竝之ヨリ生スル收入ヲ以テ歲出ニ充ツルモノトス

(原案説明) 今般豐川良平ヨリ府立園藝學校獎學資金トシテ金五百圓寄付申出ニ付本案ノ通り之ヲ特別會計トシテ處理セムトスルニ由ル

府第四十七號議案 大正八年度東京府園藝學校獎學資金歲

入歲出豫算書……………可決

歲入

第一款 園藝學校獎學資金 金五百四圓八拾錢

第一項 財產收入 金四圓八拾錢

第二項 寄付金 金五百圓

歲入合計金五百四圓八拾錢

歲出

第一款 園藝學校獎學資金 金五百四圓八拾錢

第一項 公債證書買入代 金五百四圓八拾錢

歲出合計金五百四圓八拾錢

府第四十八號議案 大正九年度東京府園藝學校獎學資金歲入

歲出豫算書……………可決

(註) 本案は、初年度豫算ではなく、次年度であるが、其の事業の内容を知る爲め特に掲載した。

歳入

第一款 園藝學校獎學資金 金貳拾七圓五拾九錢

第一項 財産收入 金貳拾七圓五拾九錢

歳入合計金貳拾七圓五拾九錢

歳出

第一款 園藝學校獎學資金 金貳拾七圓五拾九錢

第一項 生徒獎勵費 金貳拾七圓五拾九錢

歳出合計金貳拾七圓五拾九錢

府第四十九號議案 豫算外府ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル

件……………可決

左記繼續事業ニ關スル工事ノ内大正九年度所屬以降ノモノハ當該年度開始前各年度支出額ノ範圍内ニ於テ工事ノ施行ニ關スル契約ヲ締結スルコトヲ得ルモノトス

一自大正七年度 多摩川流域砂防工事

一自大正十一年度 東海道改修工事

一自大正十三年度 陸羽街道仲仙道及千葉街道改修工事

一自大正十六年度 都市計畫事業工事

一河川改良工事附帶工事タル千住新橋、堀切橋、四ツ木橋、上平井橋、江北橋、葛西橋及葛西小橋新架工事

(原案説明) 繼續事業ニ屬スル工事中ニハ各年度ニ分割シ施行スルコト能ハサルモノアルノミナラス其ノ分割シ施行シ得ルモノニアリテモ合一シテ之カ契約ヲ締結スルヲ得策トスルモノアルニ由ル

府第五十號議案 大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中改正ノ件……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依ル大正八年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通改正スルモノトス
市部郡部分擔ノ割合中左ノ一項ヲ加フ

都市計畫地方委員會費

市 八分五厘
郡 一分五厘

(原案説明) 都市計畫地方委員會費ノ五分ハ人口五分ハ前三箇年度平均直接國稅額ヲ準トシ市部ハ執レモ其ノ二倍トスルヲ適當ト認ムルニ由ル

府第五十一號議案 大正八年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

經常部

第四款 市 郡 分 賦 額 金壹萬參千百八拾八圓

第一項 市 郡 分 賦 額 金壹萬參千百八拾八圓

經常部合計金壹萬參千百八拾八圓

歳入總計金壹萬參千百八拾八圓

歳 出

經常部

第三五款 都市計畫地方委員會費 金壹萬參千百八拾八圓

第一項 委 員 會 費 金壹萬參千百八拾八圓

經常部合計金壹萬參千百八拾八圓

歳出總計金壹萬參千百八拾八圓

府第五十二號議案 府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其

支給方法中改正ノ件……………可 決

府會議員名譽職參事會員費用辨償額及其ノ支給方法中左ノ通改正シ大正八年通常府會開會中支給ノ分ヨリ之ヲ施行スルモノトス

一第六條中「四月ヨリ十一月迄八箇月分」ヲ「四月ヨリ通常府會閉會ノ當月分迄」ニ「十二月ヨリ翌年三月迄四箇月分」ヲ「通常府會閉會ノ翌月ヨリ三月分迄」ニ改ム

府第五十三號議案 大正九年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔

及收入割合中追加ノ件……………可 決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依ル大正九年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合中左ノ通追加スルモノトス
市部郡部分擔ノ割合中左ノ一項ヲ加フ
都市計畫地方委員會費

都市 八分五厘
郡市 一分五厘

(原案説明) 都市計畫地方委員會費ノ五分ハ人口五分ハ前三箇年度平均直接國稅額ヲ準トシ市部ハ孰レモ其二倍トスルヲ適當ト認ムルニ由ル

府第五十四號議案 大正九年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳 入

經常部

第四款 市 郡 分 賦 額 金六萬貳千六百七圓

第一項 市 郡 分 賦 額 金六萬貳千六百七圓

經常部合計金六萬貳千六百七圓

歳入總計金六萬貳千六百七圓

歳 出

經常部

第三六款 都市計畫地方委員會費 金六萬貳千六百七圓

第一項 委 員 會 費 金六萬貳千六百七圓

經常部合計金六萬貳千六百七圓

歳出總計金六萬貳千六百七圓

府第五十五號議案 特別會計設置ノ件……………可 決

市町村其他ノ住宅建設費貸付資金ニ關スル收支ハ之ヲ特別會計トシ公債收入並貸付金ヨリ生スル收入其ノ他ヲ以テ歳出ニ充ツルモノトス

(原案説明) 市町村其他ノ住宅建設費貸付資金ニ關スル收支ハ之ヲ特別會計トシテ處理セムトスルニ由ル

府第五十六號議案 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法……………可 決

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法

第一條 市町村其他ノ住宅建設費貸付資金トシテ大正八年度ニ於テ金百八拾四萬五千圓ヲ起債シ大藏省預金部ノ引受ヲ受クルモノトス

第二條 公債ノ引受ニ對シテハ記名債券ヲ發行ス

前項ノ債券ハ額面五百圓千圓五千圓壹萬圓及五萬圓ノ五種トシ債券ノ様式ハ知事之ヲ定ム

債券發行價格ハ額面金額ト同額トス

第三條 起債ノ利子ハ一箇年百分ノ四・八トシ毎年九月及三月ノ各末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但シ債券ノ發行又ハ償還ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數利子ハ日割ヲ以テ計算ス

第四條 公債元金ハ大正八年度内据置キ大正九年度ヨリ大正二十七年年度ニ至ル十九箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但シ經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還ノ年限ヲ短縮スルコトアルヘシ

- 大正 九 年度 金參萬八千五百圓
- 大正 十 年度 金拾壹萬參千五百圓
- 大正 十一年度 金拾壹萬九千圓
- 大正 十二年度 金拾貳萬五千圓
- 大正 十三年度 金七萬六千圓
- 大正 十四年度 金八萬圓
- 大正 十五年度 金八萬參千五百圓
- 大正 十六年度 金八萬七千五百圓

- 大正 十七年度 金九萬千五百圓
 - 大正 十八年度 金九萬六千圓
 - 大正 十九年度 金拾萬五百圓
 - 大正 二十年度 金九萬貳千五百圓
 - 大正 二十一年度 金九萬八千圓
 - 大正 二十二年度 金拾萬貳千五百圓
 - 大正 二十三年度 金拾萬七千圓
 - 大正 二十四年度 金拾萬六千圓
 - 大正 二十五年度 金拾萬五千圓
 - 大正 二十六年度 金拾壹萬圓
 - 大正 二十七年年度 金拾壹萬參千圓
- 第五條 公債元金ハ債券引換ニ之ヲ仕拂フモノトス
- 第六條 第四條ノ償還及利子仕拂額ハ市町村其他ニ貸付スヘキ資金ノ償還元利金等ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

府第五十七號議案 大正八年度東京府住宅建設費貸付資金歲

入歳出豫算書……………可決

歳入

第一款 住宅建設費貸付資金 金百八拾六萬七千貳百六拾圓

第一項 財産收入 金貳萬貳千貳百六拾圓

第二項 府債 金百八拾四萬五千圓

歳入合計金百八拾六萬七千貳百六拾圓

歳出

第一款 住宅建設費貸付資金 金百八拾六萬七千貳百六拾圓

第一項 貸付金 金百八拾四萬五千圓

第二項 府債費 金貳萬貳千四百拾圓

第三項 雜費 金百貳拾圓

歳出合計金百八拾六萬七千貳百六拾圓

府第五十八號議案 大正九年度東京府住宅建設費貸付資金歳

入歳出豫算書……………可決

府諮問第一號 府縣道ノ路線認定ニ關スル件……………答申議決

別冊調書記載ノ路線ヲ府縣道ノ路線トシテ認定セムトス
仍テ其ノ會ノ意見ヲ問フ

(答申) 諮問ノ趣旨ニ同意ス

(別冊)

府縣道路線認定調書

番號	路線名	起點	重要路線及主ナル經過地	終點	適用條項
第一號	厚木線	東京市	國道第八號路線、東京市赤坂區、豐多摩郡澁谷町、荏原郡世田谷村、玉川村、南多摩郡南村	神奈川縣厚木町	第十一條第四號
第二號	東京府線	東京市	國道第八號路線、豐多摩郡淀橋町、中野町、北多摩郡田無町、西多摩郡青梅町、小河內村	山梨縣甲府市	第四號
第三號	五日市線	東京市	府縣道第二號路線、豐多摩郡杉並村、高井戸村、北多摩郡小金井村、西多摩郡東秋留村、增戸村	西多摩郡五日市町	第三號
第四號	東京越線	東京市	國道第九號路線、北豐島郡板橋町、赤塚村	埼玉縣間野町	第四號

番號	路線名	起點	重要路線及主ナル經過地	終點	適用條項
第五號	川東京線	東京市	國道第九號路線、東京市本郷區、北豐島郡瀧野川町、王子町、岩淵町	埼玉縣北足立郡川口町	第十一條第四號
第六號	吾德線	南葛飾郡吾德町	南葛飾郡小松川町、松江村、瑞江村	千葉縣東葛飾郡行徳町	第四號
第七號	府中線	北多摩郡府中町	國道第八號路線、南多摩郡稻城村	神奈川縣橋本町	第四號
第八號	所澤線	東京市	府縣道第二號路線、北多摩郡田無町、東村山村	埼玉縣所澤町	第四號
第九號	日奈川線	南多摩郡日野町	南多摩郡多摩村、鶴川村	橫濱市神奈川町	第四號
第十號	八王子濱線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡堺村、町田町、南村	橫濱市	第四號
第十一號	八王子岡線	八王子市	南多摩郡小宮村、北多摩郡拜島村、西多摩郡箱根崎村	埼玉縣入間郡豐岡町	第四號
第十二號	府中線	北多摩郡府中町	國道第八號路線、北多摩郡立川村、福島村、府縣道第十一號路線、西多摩郡熊川村、福生村、西多摩郡青梅町、同第二號路線	西多摩郡青梅町	第四號

第十三號	八王子線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡川口村、府縣道第三號路線	西多摩郡五日市町	第四號
第十四號	青梅線	西多摩郡青梅町	府縣道第二號路線、西多摩郡霞村	埼玉縣入間郡豐岡町	第四號
第十五號	大師河原線	荏原郡大森町	荏原郡羽田町	神奈川縣橋本町	第四號
第十六號	品川線	荏原郡品川町	國道第一號路線、荏原郡大井町、入新井町	荏原郡池上村	第四號
第十七號	東塚線	東京市	國道第一號路線、東京市芝區、荏原郡大崎町、調布村	神奈川縣中塚町	第四號
第十八號	芝溝線	東京市芝區	國道第一號路線、府縣道第十七號路線、荏原郡大崎町、目黒村、碑衾村、玉川村、同第一號路線	神奈川縣橋本町	第四號
第十九號	本郷線	東京市本郷區	東京市小石川區、北豐島郡高田村、北多摩郡久留米村、北豐島郡大泉村、北多摩郡清瀨村	埼玉縣入間郡所澤町	第四號
第二十號	芝溝線	東京市芝區	府縣道第十七號路線、豐多摩郡澁谷町、荏原郡世田谷村、同第一號路線、北多摩郡江村、南多摩郡鶴川村、忠生村、同第九號路線	神奈川縣高座郡溝上町	第四號
第二十一號	調布線	北多摩郡調布町	國道第八號路線、荏原村世田谷村、府縣道第一號路線	豐多摩郡澁谷町	第四號

番 號	路線名	起 點	重要路線及主ナル經過地	終 點	適用條項
第二十二號	府中野線	北多摩郡府中町	國道第八號路線、北多摩郡多磨村、三鷹村、豐多摩郡高井戸村、杉並村、府縣道第三號路線	北多摩郡府中町	第十一條
第二十三號	本郷寺線	東京市本郷區	府縣道第十九號路線、東京市牛込區、豐多摩郡戶塚町、野方村、杉並村、井荻村、同第二號路線、井荻村、北多摩郡武藏野村、同第三號路線	北多摩郡武藏野村	第四號
第二十四號	西巢鴨線	北豐島郡西巢鴨町	北豐島郡西巢鴨町、東京市小石川區	東京市小石川區	第四號
第二十五號	東又線	東京市	國道第四號路線、東京市淺草區、本所區、南葛飾郡寺島村、隅田村、本	南葛飾郡柴又村	第三號
第二十六號	吾所線	南葛飾郡吾所町	南葛飾郡龜戸町、東京市本所區	東京市本所區	第四號
第二十七號	浦安線	東京市	國道第一號路線、東京市深川區、南葛飾郡大島町、小松川町、松江村、瑞江村、葛西村	千葉縣浦安町	第四號
第二十八號	第一環狀線	荏原郡品川町	國道第一號路線、荏原郡大崎町、府縣道第十七號路線、目黒村、同第十八號路線、目黒村、同第一號路線、豐多摩郡澁谷町、千駄谷町、國道第八號路線、府縣道第二號路線、大久保町、戶塚町、北豐島郡高田町、西巢鴨町、瀧野川町、同第五號路線、北葛飾郡王子町、日暮里町、三河島村、南千住町、南葛飾郡寺島村、吾所町、龜戸町、同第二十六號路線、大島町、砂村、東京市深川區、同第二十七號路線	東京市	第四號

第二十九號	國分寺線	北多摩郡國分寺村	北多摩郡小金井村、武藏野村、三鷹村、豐多摩郡高井戸村、府縣道第二十二號路線、和田堀、內村、代々幡町、國道第八號路線	豐多摩郡代々幡町	第四號
第三十號	北多摩無合線	北多摩郡田無町	府縣道第二號路線、北多摩郡保谷村、北豐島郡石神井村、上練馬村、下練馬村、同第四號路線、縣道第五號路線	豐多摩郡下落合村	第四號
第三十一號	北多摩無子線	北多摩郡田無町	府縣道第二號路線、北多摩郡保谷村、北豐島郡石神井村、上練馬村、下練馬村、同第四號路線、縣道第五號路線	北豐島郡王子町	第四號
第三十二號	北多摩無子線	北豐島郡王子町	府縣道第五號路線、北豐島郡王子町、岩淵町、同第五號路線	北豐島郡岩淵町	第四號
第三十三號	第二環狀線	荏原郡大井町	荏原郡平塚村、府縣道第十七號路線、碑衾村、目黒村、同第二十號路線、同第一號路線、世田谷村、同第二十一號路線、豐多摩郡代々幡町、國道第八號路線、府縣道第二十九號路線、從橋町、同第二號路線、中野町、同第二十三號路線、落合村、同第十九號路線、北豐島郡長崎村、板橋町、王子町、同第五號路線	北豐島郡王子町	第四號
第三十四號	南葛飾線	南葛飾郡寺島村	府縣道第二十八號路線、南葛飾郡隅田村、南足立郡千住町、江北村	埼玉縣北足立郡川口町	第四號
第三十五號	北豐島線	北豐島郡王子町	府縣道第三十二號路線、北豐島郡王子町、南足立郡江北村、同第三十四號路線	埼玉縣北足立郡草加町	第四號
第三十六號	東京市線	東京市	國道第九號路線、東京市神田區、下谷區、北豐島郡南千住町、同第四號路線	南足立郡千住町	第三號

番號	路線名	起點	重要路線及主ナル經過地	終點	適用條項
第六十九號	國分寺無線	北多摩郡國分寺村	府縣道第二十九號路線、北多摩郡小平村、同第三號路線、小平村、同第六十五號路線、田無町、同第一號路線	北多摩郡田無町	第十一條第四號
第七十號	八王子崎線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡小宮村、日野町、府縣道第九號路線、多摩村、同第六十七號路線、同第六十八號路線、稻城村、同第七號路線	神奈川縣橋樹町	第四號
第七十一號	八王子神奈川線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡由井村、由木村、府縣道第六十七號路線、忠生村、同第二十號路線、同第九號路線	橫濱市神奈川町	第四號
第七十二號	八王子溝線	八王子市	府縣道第十號路線、同第六十七號路線、南多摩郡堺村	神奈川縣高座郡溝村	第四號
第七十三號	八王子和川線	八王子市	南多摩郡由井村、橫山村、堺村、府縣道第六十七號路線	神奈川縣津久井郡中野川村	第四號
第七十四號	八王子原線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡元八王子村、恩方村	山梨縣北都留郡上野原町	第四號
第七十五號	八王子澤線	八王子市	國道第八號路線、南多摩郡小宮村、北多摩郡福山村、同第二號路線、府縣道第三號路線、砂川村、村	山梨縣北都留郡所入郡澤間町	第四號
第七十六號	八王子野澤線	南多摩郡日野町	國道第八號路線、北多摩郡立川村、府縣道第十號路線、同第六十六號路線	山梨縣北都留郡所入郡野澤町	第四號

第七十七號	八王子青梅線	八王子市	府縣道第十三號路線、南多摩郡川口村、西多摩郡青梅町、同第二號路線	西多摩郡青梅町	第四號
第七十八號	五日野線	西多摩郡五日市町	府縣道第三號路線、西多摩郡加住村、小宮村、同第七十七號路線、小宮村、日野町、國道第八號路線	南多摩郡日野町	第四號
第七十九號	立川秩父線	北多摩郡立川村	府縣道第七十六號路線、北多摩郡立川村、砂川村、同第三號路線、同第七十五號路線、同第二號路線、小曾木村、成木村	埼玉縣秩父郡秩父町	第四號
第八十號	五日市立川線	西多摩郡五日市町	府縣道第三號路線、西多摩郡熊川村、同第十二號路線、北多摩郡郷地村、立川村	北多摩郡立川村	第四號
第八十一號	五日市所澤線	西多摩郡五日市町	府縣道第三號路線、西多摩郡增戶村、北多摩郡瀬戶岡村、草花村、福生村、北多摩郡村山、同第七十五號路線	埼玉縣所入郡所澤町	第四號
第八十二號	五日市豐岡線	西多摩郡五日市町	府縣道第八十一號路線、西多摩郡福生村、箱根ヶ崎村、同第十一號路線	埼玉縣所入郡豐岡町	第四號
第八十三號	五日市青梅線	西多摩郡五日市町	府縣道第三號路線、西多摩郡增戶村、大久野村、調布村、同第七十七號路線	西多摩郡青梅町	第四號
第八十四號	青梅御嶽線	西多摩郡青梅町	府縣道第七十七號路線、西多摩郡吉野村、三田村	西多摩郡御嶽村	第四號
第八十五號	福生御嶽線	西多摩郡福生村	府縣道第八十一號路線、西多摩郡瀨戶岡村、平井村、大久野村、同第八十三號路線、大久野村、三田村	西多摩郡御嶽村	第四號

番 號	路 線 名	起 點	重要路線及主ナル經過地	終 點	適用條項
第三百三號	牛久保大久保停車場線	東京市牛込區	府縣道第四十九號路線、東京市牛込區、同第二十八號路線、豐多摩郡大久保町	豐多摩郡大久保町新大久保停車場	第十一條
第三百四號	葛西川線	南葛飾郡葛西村	府縣道第二十七號路線、南葛飾郡瑞江村、同第六號路線、松江村、鹿本村、小岩村、國道第七號路線	千代田縣東葛飾郡市川町	第八號
第三百五號	中野井線	豐多摩郡中野町	府縣道第二號路線、豐多摩郡中野町、同第二十三號路線、野方村	豐多摩郡野方村	第八號
第三百六號	練馬橋線	北豐島郡上練馬村	府縣道第五十五號路線、豐多摩郡野方村、中野町、同第二號路線	豐多摩郡練馬町	第八號
第三百七號	南千住德行巢合線	北豐島郡南千住町	國道第四號路線、北豐島郡南千住町、府縣道第二十八號路線、南葛飾郡寺島村、同第二十五號路線、寺島村、吾嬬町、本田村、奧戸村、國道第七號路線、松江村、篠崎村	千代田縣東葛飾郡南千住町	第四號
第三百八號	西落巢合線	豐多摩郡下落合村	府縣道第十九號路線、同第三十三號路線、北豐島郡長崎村、同第二十八號路線	北豐島郡西巢鴨町	第四號
第三百九號	葛西浦安線	南葛飾郡葛西村	南葛飾郡葛西村、府縣道第二十七號路線	千代田縣東葛飾郡浦安町	第八號
第四百號	板橋吉祥寺線	北豐島郡板橋町	府縣道第四號路線、北豐島郡板橋町、上板橋村、下練馬村、同第五十六號路線、中新井村、同第九號路線、豐多摩郡野方村、北豐島郡石神井村、同第五十一號路線、同第三十三號路線、北多摩郡武藏野村、同第二十三號路線	北多摩郡吉祥寺町	第四號

第一百一十一號	大井崎停車場線	荏原郡大井町	府縣道第三十三號路線、荏原郡大井町	荏原郡大井町	第四號
第一百一十二號	砂西村線	南葛飾郡砂村	南葛飾郡葛西村	南葛飾郡砂村	第八號
第一百一十三號	葛西小松川線	南葛飾郡葛西村	府縣道第四號路線、南葛飾郡小松川町、同第二十七號路線	南葛飾郡小松川町	第八號
第一百一十四號	西巢鴨住千線	北豐島郡西巢鴨町	府縣道第二十八號路線、北豐島郡瀧野川町、日暮里町、同第二十八號路線、三河島村、南千住町、國道第四號路線	南足立郡千住町	第四號
第一百一十五號	本郷端停車場線	東京市本郷區	府縣道第五號路線、北豐島郡瀧野川町、同第十四號路線	北豐島郡瀧野川町	第四號
第一百一十六號	尾久端停車場線	北豐島郡尾久村	北豐島郡尾久村、瀧野川町、府縣道第二十八號路線	北豐島郡瀧野川町	第四號
第一百一十七號	王子谷子線	北豐島郡王子町	府縣道第五號路線、同第二十八號路線、北豐島郡日暮里町、同第三十六號路線	東京市下谷區	第四號
第一百一十八號	下谷谷線	東京市下谷區	府縣道第十七號路線、北豐島郡尾久村、同第三十七號路線、南足立郡江北村、北豐島郡王子町、同第三十五號路線、江北村、舍人村	埼玉縣北足立郡鳩ヶ谷町	第四號
第一百一十九號	日暮里三河島線	北豐島郡日暮里町	北豐島郡日暮里町、三河島村、府縣道第一百八號路線	北豐島郡三河島村	第四號

番 號	路 線 名	起 點	重要路線及主ナル經過地	終 點	適用條項
第百廿八號	新川宿線	南葛飾郡新宿町	南葛飾郡水元村、府縣道第四十一號路	埼玉縣北葛飾郡吉川町	第四號
第百廿九號	砂村德線	南葛飾郡砂村	府縣道第二十八號路、南葛飾郡瑞江村、同第二十七號路	千葉縣東葛飾郡行徳町	第四號
第百卅號	吾婁舟場線	南葛飾郡吾婁町	南葛飾郡吾婁町、寺島村、府縣道第二十五號路	南葛飾郡舟場	第四號
第百卅一號	小松川線	南葛飾郡小松川町	國道第七號路、南葛飾郡大島町、砂村、府縣道第二十八號路	東京區深川	第四號
第百卅二號	吾婁川線	南葛飾郡吾婁町	府縣道第二十六號路、南葛飾郡龜戸町、同第二十五號路、東京區淺草區	東京區淺草	第四號
第百卅三號	小松川線	南葛飾郡小松川町	國道第七號路、南葛飾郡大島町、砂村、府縣道第二十八號路	東京區深川	第四號
第百卅四號	小岩場線	南葛飾郡小岩村	府縣道第二十三號路、南葛飾郡小岩村	南葛飾郡小岩	第四號
第百卅五號	柴又金町線	南葛飾郡柴又村	府縣道第二十六號路、國道第六號路、南葛飾郡金町村	南葛飾郡金町	第四號
第百卅六號	新龜宿場線	南葛飾郡新龜宿町	國道第六號路、南葛飾郡龜青村	南葛飾郡龜青	第四號
第百廿七號	新川宿線	南葛飾郡新川宿町	國道第六號路、府縣道第四十一號路、南足立郡東葛飾郡立川村、綾瀬村、同第四十號路、梅島村、國道第四號路、澀江村、伊興村、府縣道第三十八號路	埼玉縣北足立郡鳩ヶ谷	第四號
第百廿六號	柴又川線	南葛飾郡柴又村	府縣道第二十五號路、南葛飾郡水元村	埼玉縣東葛飾郡吉川町	第四號
第百廿五號	柴又川線	南葛飾郡柴又村	南葛飾郡金町村、小岩村、府縣道第四十二號路	千葉縣東葛飾郡市川町	第四號
第百廿四號	新川宿線	南葛飾郡新宿町	國道第六號路、南葛飾郡新宿町	南葛飾郡柴又	第四號
第百廿三號	小岩田線	南葛飾郡小岩村	國道第七號路、南葛飾郡小岩村、奥戸村、本田村、府縣道第四十二號路	南葛飾郡隅田	第四號
第百廿二號	新川宿線	南葛飾郡新宿町	國道第六號路、南葛飾郡新宿町、奥戸村、鹿本村、府縣道第七十七號路、國道第七號路	南葛飾郡小松川	第四號
第百廿一號	小松川線	南葛飾郡小松川町	國道第七號路、南葛飾郡小松川町、府縣道第六號路、同第四十一號路、同第三十四號路	南足立郡千住	第四號
第百廿號	千住行線	南足立郡千住町	國道第四號路、府縣道第三十五號路、南足立郡伊興村	埼玉縣北足立郡安行	第十一條

番 號	路 線 名	起 點	重要路線及主ナル經過地	終 點	適用條項
第百廿八號	新川宿線	南葛飾郡新宿町	南葛飾郡水元村、府縣道第四十一號路	埼玉縣北葛飾郡吉川町	第四號
第百廿九號	砂村德線	南葛飾郡砂村	府縣道第二十八號路、南葛飾郡瑞江村、同第二十七號路	千葉縣東葛飾郡行徳町	第四號
第百卅號	吾婁舟場線	南葛飾郡吾婁町	南葛飾郡吾婁町、寺島村、府縣道第二十五號路	南葛飾郡舟場	第四號
第百卅一號	小松川線	南葛飾郡小松川町	國道第七號路、南葛飾郡大島町、砂村、府縣道第二十八號路	東京區深川	第四號
第百卅二號	吾婁川線	南葛飾郡吾婁町	府縣道第二十六號路、南葛飾郡龜戸町、同第二十五號路、東京區淺草區	東京區淺草	第四號
第百卅三號	小松川線	南葛飾郡小松川町	國道第七號路、南葛飾郡大島町、砂村、府縣道第二十八號路	東京區深川	第四號
第百卅四號	小岩場線	南葛飾郡小岩村	府縣道第二十三號路、南葛飾郡小岩村	南葛飾郡小岩	第四號
第百卅五號	柴又金町線	南葛飾郡柴又村	府縣道第二十六號路、國道第六號路、南葛飾郡金町村	南葛飾郡金町	第四號
第百卅六號	新龜宿場線	南葛飾郡新龜宿町	國道第六號路、南葛飾郡龜青村	南葛飾郡龜青	第四號

番號	路線名	起點	重要路線及主ナル經過地	終點	適用條項
第百卅七號	新加線	南葛飾郡新宿町	府縣道第百三十六號路線、南葛飾郡龜青村、南足立郡東澗江村、同第四十一號路線、花畑村、同第三十九號路線、花畑村	埼玉縣北足立郡草加町	第十一條第四號
第百卅八號	西新井線	西新井村	府縣道第三十五號路線、南足立郡西新井村、澗江村、國道第四號路線、澗江村、花畑村、府縣道第百三十七號路線、同第三十九號路線	千葉縣東葛飾郡流山町	第四號
第百卅九號	西巢鴨線	西巢鴨町	府縣道第二十八號路線、北豐島郡西巢鴨町、同第三十三號路線、同第四號路線	北豐島郡板橋町	第四號
第百四十號	西新井線	西新井村	府縣道第三十八號路線、南足立郡梅島村	南足立郡梅島村西新井停車場	第四號
第百四十一號	成増停車場線	北豐島郡赤塚村	北豐島郡赤塚村、府縣道第四號路線	埼玉縣北足立郡白子村	第四號
第百四十二號	下板橋停車場線	北豐島郡板橋町	北豐島郡板橋町	北豐島郡板橋町下板橋停車場	第四號
第百四十三號	東村山線	北多摩郡東村山村	府縣道第六十號路線、北多摩郡久留米村、同第六十五號路線、久留米村	埼玉縣北足立郡白子村	第四號
第百四十四號	東村山停車場線	北多摩郡東村山村	北多摩郡東村山村	北多摩郡東村山村停車場	第四號

第百四十五號	八王子線	八王子市	府縣道第七十七號路線、西多摩郡調布村、霞村、同第十四號路線、同第七十九號路線、小曾木村	埼玉縣入間郡飯能町	第四號
第百四十六號	青能線	西多摩郡青梅町	府縣道第八十六號路線、西多摩郡小曾木村、同第四十五號路線	埼玉縣入間郡飯能町	第四號
第百四十七號	御間川線	西多摩郡御間川嶽村	府縣道第八十四號路線、西多摩郡三田村、同第二十九號路線、成木村、同第八十六號路線、同第七十九號路線、小曾木村、同第四十五號路線、第七小曾木村	埼玉縣入間郡御間川町	第四號
第百四十八號	青梅澤線	西多摩郡青梅町	府縣道第二號路線、西多摩郡霞村	埼玉縣入間郡御間川町	第四號
第百四十九號	青梅停車場線	西多摩郡青梅町	西多摩郡青梅町	西多摩郡青梅町停車場	第四號
第百五十號	羽岡線	西多摩郡羽岡村	府縣道第八十二號路線、西多摩郡箱根ヶ崎村	埼玉縣入間郡玉川町	第四號
第百五十一號	氷川線	西多摩郡氷川村	府縣道第二號路線、西多摩郡、古里村、三田村、同第四十七號路線	西多摩郡御田嶽村	第四號
第百五十二號	五日市線	西多摩郡五日市町	西多摩郡戸倉村、檜原村、小河内村	山梨縣甲府市	第四號
第百五十三號	五日市線	西多摩郡五日市町	府縣道第二號路線	山梨縣甲府市	第四號
第百五十四號	五日市線	西多摩郡五日市町	府縣道第百五十二號路線、西多摩郡檜原村	山梨縣北野原町	第四號

番號	路線名	起點	重要路線及主ナル經過地	終點	適用條項
第百五十四號	淺川溝線	南多摩郡淺川村	國道第八號路線、南多摩郡堺村、府縣道第六十七號路線、同第七十二號路線	神奈川縣高座郡溝村上	第十一條
第百五十五號	淺川停車場線	南多摩郡淺川村	南多摩郡淺川村	南多摩郡淺川村	第四號
第百五十六號	八王子停車場線	八王子市	國道第八號路線、八王子市	八王子市	第四號
第百五十七號	相原停車場線	南多摩郡堺村	南多摩郡堺村、府縣道第六十七號路線	神奈川縣津久井郡中野村	第四號
第百五十八號	日野町線	南多摩郡日野町	府縣道第九號路線、同第七十號路線、南多摩郡七生村、由木村、同第七十一號路線、同第七十二號路線、同第十號路線	南多摩郡日野町	第四號
第百五十九號	川崎町線	南多摩郡川崎町	府縣道第十號路線、南多摩郡南村	神奈川縣川崎町	第四號
第百六十號	藤澤町線	南多摩郡藤澤町	府縣道第十號路線、南多摩郡南村	神奈川縣藤澤町	第四號
第百六十一號	川濱線	神奈川縣川濱	府縣道第六十號路線、南多摩郡南村、同第十號路線	南多摩郡原町田	第七號

第百六十二號	原町停車場線	南多摩郡原町田	南多摩郡原町田	南多摩郡原町田	第四號
第百六十三號	日津野線	南多摩郡日野町	府縣道第九號路線、南多摩郡鶴川村	神奈川縣都筑郡日津野	第四號
第百六十四號	千住停車場線	南足立郡千住町	國道第四號路線、南足立郡千住町	南足立郡千住町	第四號
第百六十五號	淀橋停車場線	豐多摩郡淀橋町	府縣道第四十九號路線、豐多摩郡大久保町	豐多摩郡大久保町	第四號
第百六十六號	吉祥寺線	北多摩郡吉祥寺	府縣道第一百十號路線、北多摩郡石神井村、大泉村、北多摩郡保谷村、同第五十一號路線	北多摩郡吉祥寺	第四號
第百六十七號	練馬浦線	北多摩郡練馬村	府縣道第三十一號路線、同第五十六號路線、赤塚村	北多摩郡練馬村	第四號
第百六十八號	高田停車場線	北多摩郡高田村	府縣道第十九號路線、北多摩郡高田村	北多摩郡高田村	第四號
第百六十九號	戶塚停車場線	豐多摩郡戶塚町	府縣道第二十三號路線、豐多摩郡戶塚町	豐多摩郡戶塚町	第四號
第百七十號	岩淵線	北多摩郡岩淵町	府縣道第五號路線、北多摩郡岩淵町、志村、國道第九號路線、志村、府縣道第五十三號路線、赤塚村、同第四號路線	北多摩郡岩淵町	第四號

番 號	路 線 名	起 點	重要路線及主ナル經過地	終 點	適用條項
第百七二條	大井線	荏原町	府縣道第三十三號路線、荏原郡大井町	荏原町大井	第十一條
第百七三號	寺島線	南葛飾郡寺島村	南葛飾郡寺島村、府縣道第二十五號路線	南葛飾郡寺島	第四號
第百七三號	落合線	豐多摩郡落合村	府縣道第十九號路線、北豐島郡高田村	北豐島郡高田	第四號
第百七四號	國分寺線	北多摩郡國分寺村	府縣道第二十九號路線、北多摩郡國分寺村、同第六十六號路線	北多摩郡國分寺	第四號
第百七五號	調布線	北多摩郡調布町	北多摩郡三鷹村、府縣道第二十九號路線、武藏野村	北多摩郡調布	第四號
第百七六號	新宿線	南葛飾郡新宿町	府縣道第二十二號路線、南葛飾郡新宿町、同第二十五號路線、小岩村、同第二十五號路線、篠崎村、同第七十七號路線、瑞江村、同第六十六號路線	南葛飾郡新宿	第四號
第百七七號	吾宿線	南葛飾郡吾宿町	南葛飾郡吾宿町、府縣道第七十七號路線、本田村、同第二十五號路線、本田村、龜青村、國道第六十六號路線	南葛飾郡吾宿	第四號
第百七八號	品川線	品川町	國道第一號路線、荏原郡品川町	品川町	第四號

第百七九號	吉祥寺線	北多摩郡吉祥寺	府縣道第二十三號路線、北多摩郡武藏野村	北多摩郡吉祥寺	第四號
第百八十號	淀橋線	豐多摩郡淀橋町	府縣道第二號路線、豐多摩郡淀橋町	豐多摩郡淀橋	第四號
第百八十一號	瀧野川線	北豐島郡瀧野川町	府縣道第五號路線、北豐島郡巢鴨町、國道第九號路線	北豐島郡巢鴨	第四號
第百八三號	大森線	荏原郡大森町	國道第一號路線、荏原郡入新井町、府縣道第十六號路線	荏原郡大森	第四號
第百八三號	品川線	荏原郡品川町	荏原郡品川町	荏原郡品川	第四號

大正七年度東京府歳入歳出決算書……………承認

多摩川改修費ヲ國庫支辨ニ移スノ建議案……………可決

(建議の大要) 多摩川改修工事は、現在國庫より工費の二分の一の補助を得て、東京神奈川兩府縣負擔の下に工事進行中であるが、同川は帝都に關係ある重要河川で

あつて、曾ては、全然國庫支辨に屬して居つたのを、紙幣償却元資充當等の財政的理
由に因り、明治十三年第四十八號布告を以て地方費に移された沿革もあり、爾來連
年巨額の治水費を支出した爲め、兩府縣の財源は涸渇して、此上重大負擔に堪へ難
き窮況に陥て居るから、如上の沿革及同川の重要性に鑑み、其の改修費並水源涵養
費を國庫の支辨に移されたいと、内務大臣に意見書を提出するので、建議案は多數
を以て可決した(議員伊藤仁太郎外七名發議)

都市計畫委員數ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 都市計畫委員會官制第八條地方委員會の規定第四號に「關係府縣會
議員三人以内」とあるのを「關係府縣會議員定數ノ六分ノ一以内」と改められたい。
其の理由は、東京市の都市計畫事業の主なる目的は、其の附近隣接町村を如何に整
理按配せんかと云ふに在るから、東京府としては、其の利害關係の及ぶところ頗る
重大である。然るに委員會官制は市にのみ重きを置いて、關係府縣を疎外せんと
する傾向が見えるのは、實際に背き、條理に戻るものと考へるから、市會議員と同一
に、定數の六分の一と改正せられたいと、内務大臣に意見書を提出するので、建議案

は多數を以て可決した(議員小森七兵衛外二十五名發議)

市内洋館建築物ノ便所設備改良ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 現在東京市内の洋館建築物に裝置してある放流便所中、淨化裝置水
槽便所の備のあるのは、十餘の大會社のみで、其の他の諸會社官衙は、舊式の「タンク」
の設備があるだけで、放流便所の汚水は、其の全部が附近の濠又は下水に放流され
るから、其の汚水中に含む黴菌の數は驚くべきものがある。外濠附近には、青物市
場や魚市場等もあるから、都市衛生上看過することの出来ない重大問題である。
糞尿問題の根本的解決は、東京市の大下水工事の完成に待たなければならぬが、差
懸りての對策として、傳染病等の豫防を講ずるのは、刻下の急務と信ずるから、速に
放流便所の設備を改良せしめられたいと、知事に意見書を提出し、警視廳當局へ傳
達を望むとの建議案で、多數を以て可決した(議員小森七兵衛發議)

府參事會委任事件ニ關スル決議案……………可決

一府參事會委任事件中左ノ通改正スルモノトス

第十二號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

十三道路法施行令第二條ニ依ル諮問ニ關スル事項

十四都市計畫委員會ノ決議ニ基ク都市計畫事業費繼續年期及支出方法ノ更

正竝都市計畫費ニ關スル歳入出豫算ノ追加又ハ更正ニ關スル事

一道路法ノ施行ニ伴ヒ府會市部會郡部會議決事件ノ分別竝土木費繼續年期支出

方法ノ更正又ハ歳入出豫算ノ追加又ハ更正ヲ要スル場合ハ其ノ議決ヲ府參事

會ニ委任スルモノトス

一住宅建設費貸付資金ニ關スル起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中變更ヲ要

スル場合ハ其ノ議決ヲ府參事會ニ委任スルモノトス(議員大井玄洞外四名發議)

府立中學校授業料ニ關スル決議案……………可 決

府立中學校授業料ヲ相當増額ノ上之ヲ特別經濟ト爲シ同種類ノ學校増設ノ資金ト爲サレンコトヲ望ム(議員小池素康外六名發議)

放射線道路編入ニ關スル決議案……………可 決

一南葛飾郡葛西橋ヨリ東京市ニ通スル道路ハ交通上重要ノ關係アルニ付調査ノ上放射線道路ニ編入セラレンコトヲ望ム(議員草場九十九外四名發議)

放射線道路編入ニ關スル決議案……………可 決

一南葛飾郡大島町地内中央道路ヨリ西へ深川區菊川橋通へ連續スル道路及龜戸町地内龜戸道(天神前)ヨリ逆井橋ニ至ル道路ハ交通上重要ノ關係アリト認ムルニ付調査ノ上放射線道路ニ編入セラレンコトヲ望ム(議員草場九十九外四名發議)

府會議事堂設備ニ關スル決議案……………可 決

一府會議事堂(附屬室共)ハ東京市會ト共用ナルカ爲メ室數ノ不足狹隘ヲ感シ且間取等ノ設計時代ニ適セス從來痛切ニ其不便ヲ感シタリシニ近年府會事務頓ニ膨脹ノ結果通常竝臨時府會開會ノ場合ニ於テ傍聽人若クハ其他ノ外來者廣至群集シ議事堂ノ各室ハ是等ノ人々ヲ以テ充滿シ殊ニ府會事務局ノ如キハ之カ爲メ書記ノ事務執行ヲ妨害セラレ支障ヲ來スコト尠カラス到底捨置難キニ付現在赤十字社東京支部建物ヲ假設セル位置若クハ其附近適當ノ個所ニ建物ヲ

増築シ傍聽人其他外來者ノ控所兼應接所ニ充テ猶ホ別ニ數室ヲ設ケ議員控室ノ補足又ハ新聞記者室等ニ充用シ以テ如上ノ不便ヲ除カントス仍テ理事者ハ至急適當ノ措置ヲ採ラレンコトヲ望ム但増築建物ト本館トノ間ニハ相當ノ通路ヲ設ケ其他守衛者ヲ配置スル等詳細ナル設計々畫ニ至テハ之ヲ理事者ニ一任スルモノトス(議員松見文平外九名發議)

栗本前警視廳衛生部長慰勞ニ關スル決議案……………可 決

前警視廳衛生部長栗本庸勝君ハ在職十有八年ノ永キニ涉リ能ク其ノ職務ニ勵精シ本府保健行政上ニ貢獻セル功績極メテ顯著ナルハ一般ノ認ムル所ナリ仍テ理事者ハ適當ノ方法ヲ以テ其功勞ニ酬ユルノ措置ヲ採ラレンコトヲ望ム(議員酒井泰外五名發議)

府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル決議中改正決議案……………可 決

大正五年十二月二十三日東京府會決議府會書記退職給與金並扶助金等ニ關スル件左ノ通改正ス

第二項全項改正)

- 一 退職給與金ノ額ハ前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ在職年數十五年未滿ナルトキハ退職當時ニ於ケル俸給一箇月分ニ在職年數(一箇年未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ以下同シ)ヲ乘シタル額トシ在職年數十五年ナルトキハ退職當時ニ於ケル俸給三十箇月分トシ以上五年ヲ加フル毎ニ退職當時ニ於ケル俸給三箇月分ヲ加算シ在職三十年以上ナルトキハ三十年ノ額ニ止ム但前項第四號ノ場合ニ於テハ以上ニ依リ計算セル額ノ二倍ヲ以テ其額トシ在職年數一箇年未滿ナルトキハ退職當時ノ俸給一箇月分トス

(決議理由) 現今ノ規定ニ於テハ在職十五年未滿ニシテ退職シタル場合ハ在職年數ニ俸給半箇月分ヲ乘シタル額ヲ給與シ在職十五年以上ニシテ退職シタル場合ハ在職年數ニ俸給一箇月分ヲ乘シタル額ヲ給與スルノ趣旨ナルヲ改正シテ給與額ヲ倍加セントスルニアリ然レトモ十五年以上在職ノ場合ニ於テ無制限ニ右ノ比率ニ依リ加算スルトキハ身分不相應ノ巨額ニ達スルヲ以テ在職十五年ノ者ニハ俸給三十箇月分ヲ給與シ以上五年ヲ増ス毎ニ右基本給與額ノ十分ノ一ヲ加算シ在職三十年ニ至テ加算ヲ停止シ以テ府吏員トノ權衡ヲ保タントス(議員酒井泰外十名發議)

通常市部會

本會は大正八年十二月一日午後四時十一分に開議し、會議五日間に亘り、十二月二十八日午後五時二十八分議事終了散會した。

大井議長は、會議の同意を得て、杉山金次郎小川作藏を會議録署名議員に選定した。

この會議に於ては、豫算が巨額の膨脹を來せるに拘らず、時勢の要求として已むを得ないものと認められた爲めか、格別の論議も起らなかつたが、市部府税賦課規則中改正案として提出になつた、價格參萬圓以上の家屋に對して家屋税を増課する件は、府民に及ぼす利害關係が尠くないので、重要條件として質問が續出したが、大體に於て、有産階級に對し増課するのと、累進課税の趣旨に據つたものである爲めで、最初から好感を以て迎へられ、調査委員に附記となつて些少の修正を加へて可決せられた。

議案

市部第一號議案 大正九年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………可決

市部第二號議案 大正九年度東京府市部歳入歳出豫算書……………可決

市部第三號議案 大正九年度東京府市部請願巡查竝消防費徵收額……………可決

市部第四號議案 大正九年度東京府市部慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決

市部第五號議案 大正九年度東京府市部積立金歳入歳出豫算書……………可決

市部第六號議案 不動産處分ノ件……………可決

市部第七號議案 府税賦課規則中改正ノ件……………修正

市部第八號議案 起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中改正ノ件……………可決

市部第九號議案 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

市部第十號議案 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

市部第十一號議案 大正八年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

市部第十二號議案 積立金積立停止ニ關スル件……………可決

市部第十三號議案 大正八年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

市部第十四號議案 大正九年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

大正七年度東京府市部歳入歳出決算書……………承認

議決摘要

市第一號議案部

大正九年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……可決

營業稅

一 商業

第三類 藝妓屋業

藝妓

一人ニ付 月稅 金六圓

小藝妓

同 月稅 金貳圓五拾錢

雜種稅

一 理髮人

一 等 料金五拾錢以上ニシテ從業者ヲ使用スルモノ

年稅 金貳拾五圓

二 等 料金參拾錢以上ニシテ從業者三名以上ヲ使用スルモノ

同 金拾五圓

三 等 料金參拾錢以上ニシテ從業者三名未滿ヲ使用スルモノ

同 金拾圓

四 等 料金貳拾錢以上ニシテ從業者ヲ使用スルモノ

同 金五圓

五 等 料金貳拾錢以上ニシテ從業者ヲ使用セサルモノ

同 金參圓

六 等 料金貳拾錢未滿ノモノ

同 金貳圓

七 等 料金拾錢未滿ノモノ

同 金壹圓

一 遊藝師匠 淨瑠璃・唱歌・舞踊・音曲其
他ノ遊藝ヲ教授スル者

一 等 年稅 金拾五圓

二 等 同 金七圓

三 等 同 金壹圓五拾錢

一 遊藝稼人 人寄席・劇場・觀物興行所又ハ集會ノ場所ニ出テ軍談・講
釋・昔話・聲色・淨瑠璃・唱歌・舞踊・音曲・音樂・狂言・手品
輕業・寫シ繪・獨樂廻シ・早變リ・八人藝・人形遣ヒ・曲馬・
活動寫眞辯士其他ノ遊藝ヲ爲スコトヲ業トスル者

一 等 年稅 金貳拾八圓

二 等 同 金拾參圓

三 等 同 金貳圓

一 相撲 年稅 金參拾圓

二 等 同 金拾五圓

三 等 同 金七圓

四等	年稅	金貳圓
一併優	年稅	金貳百五拾圓
一等	同	金百八拾圓
二等	同	金百貳拾圓
三等	同	金七拾圓
四等	同	金參拾五圓
五等	同	金拾七圓
六等	同	金八圓
七等	同	金貳圓
八等	同	金貳圓
一幫間	月稅	金參圓貳拾錢
一等	同	金壹圓五拾錢
二等	同	金貳拾貳圓
一遊技場	年稅	金貳拾貳圓
玉突場	年稅	金貳拾貳圓

玉突臺一臺ニ付

球戲場玉擲ノ類揚弓場大弓場半弓場投扇競場
室內射的場吹矢場弩弓場及其ノ他ノ遊技場

同 金拾壹圓

一車

自用馬車

年稅 金五拾貳圓

二匹立以上
一匹立

同 金參拾參圓

自用人力車

同 金七圓貳拾錢

二人乘 乘臺ノ上ノ幅内法
一人乘 乘臺ノ横幅内法

同 金四圓參拾錢

一屠畜

一頭ニ付

稅 金五拾錢

牛

同

同 金四拾錢

馬

同

同 金拾錢

犢羊豚

年稅 金八圓五拾錢

一自動車

一自動轉車

第五章 府會の行動 大正八年の府會

家用

二十馬力以上	年稅	金百六拾五圓
十五馬力以上	同	金百貳拾圓
十馬力以上	同	金七拾六圓
五馬力以上	同	金四拾六圓
五馬力未滿	同	金貳拾七圓

運輸營業專用

二十馬力以上	年稅	金九拾五圓
十五馬力以上	同	金七拾圓
十馬力以上	同	金四拾四圓
五馬力以上	同	金貳拾七圓
五馬力未滿	同	金拾六圓

(原案説明) 財源ノ必要竝課稅ノ權衡上商業第三類、遊藝師匠、遊藝稼人、相撲、俳優、幫間、遊技場、車、自動自轉車、自動車ノ各稅ノ全部又ハ一部ニ對シ増課ヲ爲シ且理髮人稅及屠畜稅ノ課稅方ヲ改メ
タリ

市部 第二號議案 大正九年度東京府市部歲入歲出豫算書……………可 決

歲入

經常部

第一款 地租	割	金五拾貳萬四百貳拾四圓貳拾錢
第一款 地租	割	金五拾貳萬四百貳拾四圓貳拾錢 <small>(宅地租壹圓二付貳拾壹錢八厘、其他ノ土地地租壹圓二付五拾參錢六厘)</small>
第二款 營業稅	稅	金五拾八萬貳百七拾九圓壹錢
第一項 商業稅	稅	金五拾參萬四千參百五拾五圓四錢
第二項 工業稅	稅	金四萬五千九百貳拾參圓九拾七錢
第三款 雜種稅	稅	金九拾貳萬參百拾六圓七拾參錢
第四款 營業稅附加稅		金百貳拾壹萬六千四圓八拾錢
第一款 營業稅附加稅		金百貳拾壹萬六千四圓八拾錢 <small>(本稅壹圓二付拾四錢六厘)</small>
第五款 賣藥營業稅附加稅		金七百九拾貳圓
第一項 賣藥營業稅附加稅		金七百九拾貳圓 <small>(本稅壹圓二付參錢)</small>
第六款 取引所營業稅附加稅		金五萬千四百七拾圓

- 第一款 取引所營業稅附加稅 金五萬千四百七拾圓
(本稅壹圓二付拾錢)
- 第七款 所得稅附加稅 金百拾六萬貳千七百九拾貳圓四拾錢
(本稅壹圓二付七錢六厘)
- 第八款 家屋稅 金百五萬八千六百參拾貳圓五拾錢
(本稅壹圓二付七錢六厘)
- 第一款 家屋稅 金百五萬八千六百參拾貳圓五拾錢
(個數一個二付五錢五厘、特別增課拾五萬八千七百五拾圓)
- 第九款 都市計畫特別稅 金參拾貳萬參千七百八拾八圓
- 第一款 地租附加稅 金五萬七千貳百六拾六圓四拾錢
(地租壹圓二付貳錢四厘)
- 第二款 營業稅附加稅 金貳拾六萬六千五百貳拾壹圓六拾錢
(本稅壹圓二付參錢貳厘)
- 第十款 國庫下渡金 金參百五拾九萬五千七百六拾參圓五拾六錢
- 第一款 警察費下渡金 金參百五拾九萬五千七百六拾參圓五拾六錢
- 第二款 雜收入 金七拾四萬九百貳拾七圓參拾九錢
- 第三款 市郡連帶市部收入額 金貳百參拾參萬八千貳百圓四拾七錢
- 第一款 市郡連帶市部收入額 金貳百參拾參萬八千貳百圓四拾七錢
- 經常部合計金千貳百五拾萬九千參百九拾壹圓六錢
- 臨時部

- 第一款 繰越金 金千圓
- 第一款 前年度繰越金 金千圓
- 第二款 國庫補助金 金壹萬九千七百四圓參拾八錢
- 第一款 警察費補助金 金八千參拾七圓七拾貳錢
- 第二款 市町村傳染病豫防補助費補助金 金壹萬千六百六拾六圓六拾六錢
- 第三款 財產賣拂代 金五百六拾圓七拾錢
- 第一款 不動產賣拂代 金五百六拾圓七拾錢
- 第四款 府債 金貳拾四萬圓
- 第一款 府債 金貳拾四萬圓
- 臨時部合計金貳拾六萬千貳百六拾五圓八錢
- 歲入總計金千貳百七拾七萬六千五百五拾六圓四拾四錢
- 歲出

- 經常部
- 第一款 警察費 金六百貳萬七千七百六拾圓九拾九錢
- 第一款 俸給及諸給 金四百七拾貳萬貳千八百七拾貳圓拾錢

警部補二百八十四人月俸四拾八圓此金拾六萬參千五百八拾四圓、巡查部長三百六十五人月俸四拾五圓此金拾九萬七千百圓、巡查五千五百九十八人月俸四拾圓此金貳百六拾八萬七千四拾圓、精勤加俸七萬參千八百六拾四圓、功勞加俸七百貳拾圓、消防曹長五十四人月俸四拾圓此金貳萬五千九百貳拾圓、消防手六百二十五人月俸參拾六圓三十人月俸貳拾參圓此金貳拾七萬八千貳百八拾圓、精勤加俸參千九百圓、警察書記四十人月俸四拾圓百十八人月俸參拾四圓、消防書記五十人月俸參拾四圓此金八萬七千七百四拾四圓、警察署長、警部、警部補、巡查、消防手宿料六拾八萬貳千四百六拾四圓、諸備給(水上署及消防關係)拾六萬九千八拾貳圓五拾錢其他手當旅費、惠與、給助

第二項 廳

費 金百參拾萬四千八百八拾八圓八拾九錢

(原案説明)前年度ニ比シ百貳萬七百八拾四圓六拾參錢ヲ増ス其主ナル理由ハ警部補以下ノ増俸増給及消防手百名小使四十名増員警察署長以下ノ宿料、精勤加俸、旅費給助等ノ増額及物價騰貴ニ基ク諸般ノ見積増等ニ由ル

第二款 警察廳舍修繕費

金參萬四百五拾八圓

第一項 修繕費

費 金參萬四百五拾八圓

第三款 府費取扱費

金參萬參千九百參拾六圓貳拾錢

第四款 財政收入費

費 金參萬參千九百參拾六圓貳拾錢

第五款 府社費

費 金貳圓

第六款 豫備費

費 金貳百四拾八圓

第七款 市郡分賦市部負擔額

金貳百四拾八圓

第八款 市郡分賦市部負擔額

金貳百四拾八圓

第九款 臨時部

費 金五千圓

第十款 經常部合計金千貳百五拾五萬八千貳百七拾六圓拾六錢

金六百四拾六萬八百七拾圓九拾七錢

第十一款 經常部合計金千貳百五拾五萬八千貳百七拾六圓拾六錢

金六百四拾六萬八百七拾圓九拾七錢

第十二款 經常部合計金千貳百五拾五萬八千貳百七拾六圓拾六錢

金六百四拾六萬八百七拾圓九拾七錢

第十三款 警察廳舍建築費

金拾參萬千四百拾八圓

第十四款 第一項 建築費

費 金拾參萬千四百拾八圓

第十五款 神樂坂警察署外八署建築費及電話架設費

費 金拾參萬千四百拾八圓

第二款 市町村傳染病豫防補助費 金七萬圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金七萬圓

第三款 府 債 費 金八千九百參拾四圓

第一項 利 子 金八千九百參拾四圓

臨時部合計金貳拾壹萬參百五拾貳圓

歲出總計金千貳百七拾六萬八千六百貳拾八圓拾六錢

市 第三號議案部 大正九年度東京府市部請願巡查並消防費徵收

額.....可決

一金六拾七圓 巡查一人一箇月分

一金六拾貳圓 消防手一人一箇月分

市 第四號議案部 大正九年度東京府市部慈惠救濟資金歲入歲出

豫算書.....可決

市 第五號議案部 大正九年度東京府市部積立金歲入歲出豫算書.....可決

市 第六號議案部 不動産處分ノ件.....可決

東京市牛込區神樂河岸所在

牛込神樂坂警察署建物

一木造二階建瓦葺 建坪三十坪 壹棟

一木造平家建瓦葺 建坪五十九坪二合五勺 壹棟

此見積價格金五百六拾圓七拾錢 附屬物件共

右賣却スルモノトス

(原案説明) 右ハ改築ノ爲不用ニ屬スルヲ以テ賣却セムトス

市 第七號議案部 府稅賦課規則中改正ノ件.....修正

東京府市部府稅賦課規則中左ノ通改正シ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行スルモノトス

第十二條ノ三 理髮人稅ノ等級ハ毎年度四月一日及十月一日現在ノ從業者數及

最高ノ理髮料金ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第十二條ノ四 屠畜稅ハ屠殺ノ時々其物件所有者ニ之ヲ賦課ス

二棟以上在ルトキハ同一人ノ所有ニ屬スル場合ニ限リ其總價格ニ相當スル等級ニ依リ各建物價格ニ比例シテ其總課額ヲ算定ス其「參萬圓」(五萬圓)ト修正以上及「參萬圓」(五萬圓)ト修正未滿ノ各建物ヲ併存スルトキ又ハ各建物ヲ合セ「參萬圓」(五萬圓)ト修正以上ニ達スル場合亦同シ

一同一ノ建物ニシテ二以上ノ用途ヲ兼ネ之ヲ區別シ難キ場合ニ在リテハ其用途ハ主タル用途ニ依ル

一第一號ニ定ムル課額ヲ増課スヘキ場合ニ於テ家屋カ二市區(東京市)町村以上ニ跨リ存在スルトキハ其總價格ニ相當スル等級ニ據リ各所在地建物價格ニ比例シテ其課額ヲ算定ス

第五章 都市計畫特別稅

第十八條 都市計畫特別稅タル地租附加稅ノ賦課ニ關シテハ第一條營業稅附加稅ノ賦課ニ關シテハ第十四條ノ規定ヲ準用ス

(原案説明) 本案改正ヲ要スルハ理髮人稅及屠畜稅ノ賦課方法其他ヲ改メトスルト價格參萬圓以上ノ家屋ニ對シ特ニ増課ヲ爲サムトスルト尙都市計畫特別稅ニ關スル規定ヲ設定セムトスルトニ由ル

(修正理由) 家屋稅増課ノ趣旨ハ富者階級ヲ目的トスルモノナルニ現在一般ノ實狀ニ徴シ最低額參萬圓ヲ課稅ノ範圍ニ入ルルハ苛酷ニ失スルモノト認メ最低ヲ五萬圓以上ニ引上ケ順次繰上ケ一等ニ屬セル課額ハ之ヲ削除スルニ由ル(調査委員意見 委員長伊藤仁太郎)

市部
第八號議案

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中改正ノ
件……………可決

起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法(大正七年臨時第二號)中左ノ通改ムルモノトス

第一條中金八拾壹萬七千六百圓ヲ「金四拾參萬四千圓」大正九年度金拾六萬六千六百圓ヲ「大正九年度金貳拾四萬圓」大正十年度金貳拾萬千七百圓ヲ「大正十年度金拾九萬四千圓」ニ改メ大正七年度金拾壹萬八千貳百圓「大正八年度金拾參萬參千五百圓」及「大正十一年度金拾九萬七千六百圓」ヲ削ル

第三條 借入金ハ借入ノ時ヨリ大正十年度迄据置キ大正十一年度及大正十二年度ノ二箇年度ニ於テ左ノ通償還スルモノトス但シ經濟ノ都合ニ依リ繰上償還ヲ爲シ償還ノ年限ヲ短縮スルコトヲ得

大正十一年度 金拾六萬參千四百圓

大正十二年度 金貳拾七萬六百圓

市第九號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

大正九年度郡部經濟市郡負擔歲出ニ充ツル爲東京府市部積立金ヨリ金五萬圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟へ運用スルモノトス
一大正九年度内須要ニ應シ一回若クハ數回ニ運用スルモノトス
一運用金ノ利子ハ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ以テ毎年度九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但シ運用又ハ戻入ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數ハ日割ヲ以テ計算ス

一運用金ハ左ノ二箇年度ニ於テ戻入スルモノトス
大正十一年度 金壹萬五千圓
大正十二年度 金參萬五千圓

市第十號議案部 特別經濟運用ニ關スル件……………可決

大正九年度郡部經濟市郡負擔歲出ニ充ツル爲東京府市部慈惠救濟資金ヨリ金參

萬圓ヲ左ノ各項ニ依リ郡部普通經濟へ運用スルモノトス

一大正九年度内須要ニ應シ一回若クハ數回ニ運用スルモノトス
一運用金ノ利子ハ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ以テ毎年度九月末日及三月末日ニ於テ前六箇月分ヲ仕拂フモノトス但シ運用ノ際ニ於ケル一期ニ充タサル端數ハ日割ヲ以テ計算ス
一運用金ハ大正十一年度ニ於テ其全額ヲ戻入スルモノトス

市第十一號議案部 大正八年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入 經常部

第十款 國庫下渡金 金拾貳萬四千參百六拾貳圓七拾壹錢

第一項 警察費下渡金 金拾貳萬四千參百六拾貳圓七拾壹錢

第三款 市郡連帶市部收入額 金壹萬四千參百八拾參圓七拾六錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金壹萬四千參百八拾參圓七拾六錢

經常部合計金拾參萬八千七百四拾六圓四拾七錢

臨時部

第一款 繰越金 金四拾七萬七千七百八拾參圓貳拾六錢

第一項 前年度繰越金 金四拾七萬七千七百八拾參圓貳拾六錢

臨時部合計金四拾七萬七千七百八拾參圓貳拾六錢

歳入總計金六拾壹萬六千五百貳拾九圓七拾參錢

歳出

經常部

第一款 警察費 金貳拾萬七千貳百七拾壹圓拾九錢

第一項 俸給及諸給 金貳拾萬七千貳百七拾壹圓拾九錢

警察書記其他特別手當增加支給

第七款 市郡分賦市部負擔額 金四拾萬九千貳百五拾八圓五拾四錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金四拾萬九千貳百五拾八圓五拾四錢

經常部合計金六拾壹萬六千五百貳拾九圓七拾參錢

歳出總計金六拾壹萬六千五百貳拾九圓七拾參錢

市第十二號議案部 積立金積立停止ニ關スル件……………可決

大正七年度普通經濟決算剩餘金ノ内金五千圓ハ本年度ニ於テ市部積立金へ編入シ之ヲ積立ツヘキ筈ナルモ右ハ經濟ノ都合ニ依リ之ヲ停止スルモノトス

市第十三號議案部 大正八年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入

臨時部

第一款 繰越金 金壹萬千貳百九圓八拾錢

第一項 前年度繰越金 金壹萬千貳百九圓八拾錢

臨時部合計金壹萬千貳百九圓八拾錢

歳入總計金壹萬千貳百九圓八拾錢

歳出

經常部

第七款 市郡分賦市部負擔額 金壹萬千貳百九圓八拾錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金壹萬千貳百九圓八拾錢

經常部合計金壹萬千貳百九圓八拾錢

歳出總計金壹萬千貳百九圓八拾錢

市部 第十四號議案 大正九年度東京府市部歳入歳出追加豫算書……………可決

歳入部

經常部

第九款 都市計畫特別稅 金五萬千八百八圓四拾錢

第一項 地租附加稅 金九千五百四拾四圓四拾錢

第二項 營業稅附加稅 金四萬千六百四拾四圓

經常部合計金五萬千八百八圓四拾錢

歳入總計金五萬千八百八圓四拾錢

歳出部

經常部

第七款 市郡分賦市部負擔額 金五萬參千貳百拾五圓九拾五錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金五萬參千貳百拾五圓九拾五錢

經常部合計金五萬參千貳百拾五圓九拾五錢

歳出總計金五萬參千貳百拾五圓九拾五錢

大正七年度東京府市部歳入歳出決算書……………承認

通常郡部會

本會は大正八年十二月一日午後四時十五分に開議し、會議六日間に涉り、十二月二十八日午後三時十分議事終了散會した。

井田議長は、會議の同意を得て、伊藤武七郎、石井寅三を會議録署名議員に選定した。

議案 附建議案、決議案

第一號議案部	大正九年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決
第二號議案部	大正九年度東京府郡部歳入歳出豫算書……………可決
第三號議案部	大正九年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可決
第四號議案部	大正九年度東京府郡部慈惠救濟資金歳入歳出豫算書……………可決

第郡	第五號議案部	大正九年度東京府郡部衛生資金歲入歲出豫算書	可決
第郡	第六號議案部	大正九年度東京府郡部積立金歲入歲出豫算書	可決
第郡	第七號議案部	不動産處分ノ件	可決
第郡	第八號議案部	不動産處分ノ件	可決
第郡	第九號議案部	不動産處分ノ件	可決
第郡	第十號議案部	不動産處分ノ件	可決
第郡	第十一號議案部	不動産處分ノ件	可決
第郡	第十二號議案部	自大正九年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法 自大正十年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法 自大正十一年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法 自大正十一年度東京府郡部勸業費繼續年期及支出方法	可決
第郡	第十三號議案部	自大正九年度東京府郡部勸業費繼續年期及支出方法	可決
第郡	第十四號議案部	自大正十一年度東京府郡部土木補助費繼續年期及支出方法	可決
第郡	第十五號議案部	起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中改正ノ件	可決
第郡	第十六號議案部	起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法中改正ノ件	可決
第郡	第十七號議案部	特別經濟運用ニ關スル件	可決

第郡	第十八號議案部	府稅賦課規則中改正ノ件	可決
第郡	第十九號議案部	大正八年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書	可決
第郡	第二十號議案部	府稅賦課ニ關スル件	可決
第郡	第二十一號議案部	特別經濟運用ニ關スル件	可決
第郡	第二十二號議案部	積立金積立停止ニ關スル件	可決
第郡	第二十三號議案部	大正八年度東京府郡部慈惠救濟資金歲入歲出追加豫算書	可決
第郡	第二十四號議案部	豫算外府ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件	可決
第郡	第二十五號議案部	豫算外府ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件	可決
第郡	第二十六號議案部	大正八年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書	可決
第郡	第二十七號議案部	大正九年度東京府郡部歲入歲出豫算書	可決
		大正七年度東京府郡部歲入歲出決算書	承認
		郡部府稅賦課規則中改正ニ關スル建議案	可決
		郡部參事會委任事件ニ關スル決議案	可決

議決摘要

第一號議案部 大正九年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……可決

營業稅

一 商業

第一類 物品販賣業(賣藥行商)

第二類 銀行業・保險業・無盡業・金錢貸付業・物品貸付業・兩換業・倉庫業

第三類 運送業・運河業・棧橋業・船舶碇繋場業・貨物陸揚場業・鐵道業

第四類 請負業

第五類 席貸業・旅人宿業・木賃宿業・牛馬宿業・下宿業

第六類 周旋業・代理業・仲立業・問屋業・信託業・紹介業

第七類 藝妓屋業

藝妓

小藝妓

第八類 賣藥行商

一 工業

年稅 賣上收入金高千分ノ六

同 營業收入金高百分ノ七

同 營業收入金高千分ノ五・五

同 請負收入金高千分ノ五・五

同 營業收入金高千分ノ六

同 報償收入金高百分ノ二・八

一人ニ付 月稅 金六圓

同 同 金貳圓參拾錢

同 同 年稅 金參拾六錢 營業收入金高千分ノ六

雜種稅

一 料理屋

一 待合茶屋

一 遊船宿

一 芝居茶屋

一 飲食店

一 湯屋

一 理髮人

但シ從業者一人ヲ増ス毎ニ金六拾錢ヲ加フ

一 雇人請宿

一 遊藝師匠 淨瑠璃・唱歌・舞踊・音曲其ノ他ノ遊藝ヲ教授スル者

一 遊藝稼人 人寄席・劇場・觀物興行所又ハ集會ノ場所ニ出テ軍談・講釋・昔話・聲色・淨瑠璃・唱歌・舞踊・音曲・音樂・狂言・手品・輕業・寫シ繪・獨樂廻シ・早變リ・八人藝・人形遣ヒ・曲馬・活動寫眞辯士其他ノ遊藝ヲ爲スコトヲ業トスル者

一 相撲

一 等

年稅 報償收入金高百分ノ二・八

年稅 金貳圓四拾錢

年稅 金貳圓四拾錢

年稅 金參拾圓

玉突場 玉突臺一臺ニ付 年稅 金參拾圓

球戲場 玉擲ノ類 楊弓場 大弓場 半弓場 投扇競場 同 金拾四圓

室内射的場 吹矢場 弩弓場 及其ノ他ノ遊技場 同 金拾四圓

一人寄席 日稅 金拾五錢

一船 日本形船 積石五十石未滿 解漁船 小廻船 (積石ニ拘ハラス)

長 自軸梁 二間未滿 年稅 金四拾八錢

同 至軸梁 二間 同 金七拾貳錢

但シ二間以上一間ヲ加フル毎ニ金貳拾四錢ヲ增加ス一間未滿ヲ加フル

トキ亦同シ

遊船 長 自軸梁 三間未滿 同 金壹圓六拾錢

同 至軸梁 三間 同 金貳圓參拾錢

但シ三間以上一間ヲ加フル毎ニ金七拾八錢ヲ增加ス一間未滿ヲ加フル

トキ亦同シ

一車

自用馬車 年稅 金六拾四圓

二匹立以上 同 金四拾壹圓

一匹立 同 金拾九圓

鐵道馬車 同

營業馬車 二匹立以上 同 金拾六圓

一匹立 同 金拾圓

荷積牛馬車 同 金七圓五拾錢

自用人力車 二人乘 乘臺ノ上ノ幅内法 同 金九圓七拾錢

一人乘 乘臺ノ上ノ幅内法 同 金六圓

營業人力車 同 金貳拾四錢

荷積大車 荷臺ノ上ノ方尺積十 同 金貳圓四拾錢

荷積小車 荷臺ノ上ノ方尺積十 同 金壹圓四拾錢

一 水車

紡織製作其ノ他機關ヲ運轉スルモノ

一馬力ニ付

年税

金壹圓八拾錢

挽 臼 徑一尺五寸以上

一個ニ付

同

金壹圓貳拾錢

同 徑一尺五寸未滿

同

同

金六拾錢

擣 臼 三斗張以上

同

同

金拾七錢

同 三斗張未滿

同

同

金拾貳錢

一 屠畜

牛

一頭ニ付

年税

金五拾錢

馬

同

同

金四拾錢

犢羊豚

同

同

金拾錢

一 採藻

海苔採

海面百坪ニ付

年税

金參拾六錢

一 自轉車

一 自動自轉車

年税

金參圓

一 自動車

年税

金拾圓八拾錢

自家用

二十馬力以上

同

金貳百貳拾圓

十五馬力以上

同

金百六拾圓

十五馬力以上

同

金百圓

十五馬力以上

同

金六拾圓

五馬力未滿

同

金參拾五圓

運輸營業專用

二十馬力以上

同

金百貳拾圓

十五馬力以上

同

金八拾八圓

十五馬力以上

同

金五拾五圓

十五馬力以上

同

金參拾參圓

五馬力未滿

同

金貳拾圓

一 火葬場

收入金高百分ノ十

一 日本形船

積石五十石以上

一石ニ付

年税

金參錢

一 西洋形船

一 蒸汽船機械船及客船

河川ヲ航行スルモノニシテ乘客定員四十人以上ノ客船及其曳船

以上ニ該當セサル船

風帆船及其他ノ船

一 法人建物

個數一個ニ付

年稅

金貳拾錢

一 狩獵

一 等

狩獵法ニ依リ一等ノ免許稅ヲ納ムルモノ

狩獵免許稅百分ノ十三

二 等

同ナ納ムルモノ

同 百分ノ十三

三 等

同ナ納ムルモノ

同 百分ノ十

一 畜犬

一頭ニ付

年稅

金貳圓貳拾錢

一 不動産取得

時價千分ノ七

(原案説明) 財源ノ必要竝課稅ノ權衡上狩獵稅及不動産取得稅以外ノ各稅全部ニ對シ増課ヲ爲シ且屠畜稅ノ賦課方法ヲ改メタリ

郡 第二號議案部 大正九年度東京府郡部歲入歲出豫算書……………可 決

歲 入

經 常 部

第一款 地 租

割

金六拾五萬六千貳百參拾貳圓

第一項 地 租

割

金六拾五萬六千貳百參拾貳圓

(宅地租壹圓ニ付參拾九錢貳厘其他ノ土地地租壹圓ニ付九拾六錢四厘)

第二款 營 業 稅

稅

金貳拾萬參千七百四拾參圓貳拾六錢

第一項 商 業 稅

稅

金拾參萬貳千七百四拾壹圓七拾貳錢

第二項 工 業 稅

稅

金七萬千壹圓五拾四錢

第三款 雜 種 稅

稅

金七拾貳萬五千百參拾壹圓貳拾參錢

第四款 營 業 稅 附 加 稅

稅

金貳拾五萬四千九拾八圓

第一項 營 業 稅 附 加 稅

稅

金貳拾五萬四千九拾八圓

(本稅壹圓ニ付貳拾九錢)

第五款 賣 藥 營 業 稅 附 加 稅

稅

金百貳拾六圓

第一項 賣 藥 營 業 稅 附 加 稅

稅

金百貳拾六圓

(本稅壹圓ニ付參錢)

第六款 所 得 稅 附 加 稅

稅

金五拾八萬八千四百七拾六圓

第一項 所 得 稅 附 加 稅

稅

金五拾八萬八千四百七拾六圓

(本稅壹圓ニ付拾四錢)

第七款 家 屋 稅

稅

金百九萬八千九百拾四圓